

第1回袖ヶ浦市地域公共交通活性化協議会 会議録要旨

1 開催日時 令和元年8月26日 午後2時00分開会

2 開催場所 袖ヶ浦市役所 旧館3階大会議室

3 出席委員

会 長	鈴木 文彦	委 員	高浦 久男
委 員	斯波 恭太郎	委 員	黒澤 正起
委 員	林 雄一	委 員	大岩 和博
委 員	杉田 浩昭	委 員	西田 隆司
委 員	成田 斉	委 員	影山 昭子
委 員	加藤 正之	委 員	赤川 稔
委 員	宮崎 隆一	委 員	船越 光子
委 員	鈴木 利和	委 員	鹿嶋 章夫
委 員	宮嶋 亮二		

(代理出席)

委 員	川俣 好彦代理 池田 絵里子
-----	----------------

(欠席委員)

委 員	市川 美則
委 員	齊藤 博崇

4 出席職員

袖ヶ浦市長	出口 清
企画財政部次長兼企画課長	小島 悟
企画財政部企画課 副参事	近藤 英明
企画財政部企画課 副主幹	菊地 国文
企画財政部企画課 副主査	安藤 大輔
企画財政部企画課 主任主事	御園生 諒
高齢者支援課課長	野呂 幸晴
高齢者支援課 高齢者福祉班長	半沢 佐知子
高齢者支援課 主任主事	平野 祥子

5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5人
傍聴人数	2人

6 議 題

- (1) 公共交通の状況について
- (2) 今年度の取組状況について
- (3) その他

7 議 事

事務局 (近藤副参事)	<p>本日は、お忙しい中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。 定刻となりましたので、ただ今から、令和元年度第1回袖ヶ浦市地域公共交通活性化協議会を開催いたします。</p> <p>会議に入ります前に、本日の出席者数について報告いたします。</p> <p>本日の出席者は、18名でございます。全委員20名の過半数の出席をいただいておりますので、協議会規約第8条の規定により会議は成立いたします。なお、袖ヶ浦市自治連絡協議会の齊藤委員、日東交通株式会社乗務員代表の市川委員は所用のため欠席との連絡をいただいております。また、所用のため、千葉県総合企画部交通計画課 川俣 委員の代理で池田様へ出席いただいておりますので、ご報告いたします。</p> <p>次に、配布いたしました資料を確認させていただきます。</p> <p>先にご送付させていただいております、「会議次第」、「資料1」、「資料2」、「参考資料」、と本日机の上に配布させていただきました「座席表」、「委員名簿」、「袖ヶ浦市地域公共交通活性化協議会の役割について」、「袖ヶ浦市地域公共交通活性化協議会規約」の以上8点でございます。</p> <p>以上でございますが、資料の配布もれはございませんでしょうか。</p> <p>(配付漏れなし)</p>
事務局 (近藤副参事)	<p>続きまして、平成31年3月31日をもって、委員の任期満了に伴い、全ての委員の方が改選となりましたので、ここで出口市長から皆様方に委嘱状を交付させていただきます。お名前をお呼びいたしますので、自席にてご起立のうえ 委嘱状をお受け取りください。</p> <p>それでは、市長お願いいたします。</p> <p>(市長より辞令交付)</p>
事務局 (近藤副参事)	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、会議開催にあたりまして、出口市長よりごあいさつを申し上げます。</p> <p>(市長あいさつ)</p>
事務局 (近藤副参事)	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、第1回目の会議ということで、委員の皆様、事務局職員の</p>

<p>事務局 (近藤副参事)</p>	<p>紹介を行ないたいと存じます。大変、恐縮ですが、名簿順（席の順番）によりまして、鈴木様から自己紹介を、お願いしたいと存じます。</p> <p>(各委員自己紹介)</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>次に、事務局職員を紹介します。</p> <p>企画財政部次長兼企画課長の 小島 でございます。</p> <p>公共交通担当の 企画課 菊地 でございます。</p> <p>同じく 企画課 安藤 でございます。</p> <p>同じく 企画課 御園生 でございます。</p> <p>続きまして、本日高齢者の移動対策の点から高齢者支援課にも出席いただいておりますので紹介させていただきます。</p> <p>高齢者支援課長の 野呂 でございます。</p> <p>高齢者支援課高齢者福祉班長 半沢 でございます。</p> <p>高齢者支援課 平野 でございます。</p> <p>私、企画課の近藤と申します。どうぞ、よろしく願いいたします。</p> <p>議事に入ります前に、本会議の公開について説明させていただきます。</p> <p>本会議は「袖ヶ浦市付属機関等の会議の公開に関する要綱」に規定されております「付属機関等」に属しますので、原則公開することとし、会議録につきましては、発言者の氏名を記載し、要点筆記により調製のうえ公開してまいります。そのため、本日録音をさせていただきますのでご了承ください。</p> <p>また、開催にあたりまして、傍聴の申込みを受け付けたところ、本日2名の方から申し込みをいただきました。傍聴の手続をされた方につきましては、事務局から渡されました傍聴要領を遵守し、会議の円滑な運営にご協力をお願いします。</p> <p>また、次第6当協議会の役割について、事務局より説明させていただきます。</p> <p>(事務局より説明)</p> <p>次に、次第7役員の選出についてでございます。協議会規約第7条に基づき議長は会長が務めることとなっておりますが、任期満了に伴う全委員改選のため、役員が選出されておられませんので、会長選出までの間、事務局の小島企画課長が仮議長として議事を進行させていただくことをご了承ください。</p> <p>それではよろしく願いいたします。</p>
------------------------	--

<p>仮議長 (小島次長)</p>	<p>それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきます。 早速、議事に入らせていただきます。「役員を選出について」でございますが、協議会規約をご覧いただきたいと思ひます。 よろしいでしょうか。 協議会規約第6条第2項に、「会長は委員の互選によってこれを定める」と規程されております。選任方法等も含めまして、ご意見をお伺いしたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>会長につきましては、本協議会発足時より会長を務められ、各市町村の公共交通に関する取組みについて、幅広い見識をお持ちの鈴木委員を推薦したいと思ひます。</p>
<p>仮議長 (小島次長)</p>	<p>ただいま、加藤委員より、会長に鈴木文彦委員とのご発言がございましたが、如何でしょうか。</p> <p>(「異議なし」との声)</p>
<p>仮議長 (小島次長)</p>	<p>ありがとうございます。 それでは、鈴木委員に会長をお願いするということで、ご承認をいただきました。鈴木委員、会長席へお願ひいたします。</p>
<p>事務局 (近藤副参事)</p>	<p>ここで、鈴木会長より、ご挨拶を賜りたいと存じます。よろしくお願ひいたします。</p> <p>(会長あいさつ)</p>
<p>事務局 (近藤副参事)</p>	<p>ありがとうございました。 なお、市長は所用のため、ここで退席とさせていただきます。</p> <p>(市長退席)</p>
<p>事務局 (近藤副参事)</p>	<p>それでは、協議会規約第7条第1項の規程により、会長が会議の議長となることとなっておりますので、これからの議事進行を鈴木会長にお願ひしたいと存じます。どうぞ、よろしくお願ひいたします。</p>
<p>議長 (鈴木会長)</p>	<p>それでは、規約によりまして、私が議長の役目を務めさせていただきます。ご協力の程よろしくお願ひいたします。 それでは、「役員を選出について」について、引き続き行わせていただきたいと思ひます。 「副会長の選出について」でございますけれども、副会長については規約の第6条第3項に、「会長が指名する」と規定されております。従いま</p>

	<p>して、私から指名させていただきたいと思います。</p> <p>副会長に袖ヶ浦市企画財政部長の宮嶋亮二委員にお願いしたいと存じます。</p> <p>以上、ご報告申し上げます。</p> <p>それでは、次第9の議題1「公共交通の状況について」事務局からの説明を求めます。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">事務局より、資料に基づき説明</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>質疑を受ける前に、今年度委員が改選となっていますので、まずは公共交通の現状について、委員の共通認識を図るため、交通事業者から各社の現状と今後の見通しについて、説明をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは加藤委員から、説明をお願いいたします。</p> <p>加藤委員</p> <p>日東交通です。</p> <p>現状としては、大きな変化というものではないのですが、乗務員不足という問題を抱えています。</p> <p>昨年までは、就職数と退職数がほぼ同じでありましたが、今年になって就職数が減ってきており、その影響で、ダイヤの見直しや運行本数の調整に四苦八苦しています。定年等で予定された退職であれば、見通しを立てることはできますが、突然退職する人もいるため、どれだけの人員を確保できるのかが課題となっている中で、かろうじてダイヤを維持しています。</p> <p>議長 (鈴木会長)</p> <p>加藤委員ありがとうございます。</p> <p>次に宮崎委員、説明をお願いいたします。</p> <p>宮崎委員</p> <p>小湊鉄道です。</p> <p>加藤委員の話にもありましたが、当社においても乗務員不足が顕著となっています。それに加えて、働き方改革による乗務員の労働条件の改善により、休日の確保や時間外労働の縮小といったような世間の流れがあります。</p> <p>働き方改革によって労働時間が縮小されるなかで、それと逆行する形で、乗務員が不足している状態であり、ダイヤの維持に苦慮しています。</p> <p>増便等の要望に対応したいと思っておりますが、実行できないというのが現状です。</p> <p>議長 (鈴木会長)</p> <p>宮崎委員ありがとうございます。</p> <p>次に鈴木委員、説明をお願いいたします。</p>
--	---

鈴木委員	<p>タクシー業界も人員不足であり、事業の存続に繋がってきています。入社希望の面接はほとんどなく、様々な方策をとってはいますが、人員は全く増えません。私自身も、運行管理者であり、管理職の業務を行いながら、時間を見つけては乗務員業務にも携わっています。</p> <p>当社は袖ヶ浦駅南口に事務所を構えており、利用者は多いため、仕事自体は増えている中で、人員が増えないといった状況です。</p> <p>また、アプリでの配車サービス等のIT系を前面に出して、人員の確保に向けてアピールできれば良いと考えています。</p>
議長 (鈴木会長)	<p>鈴木委員ありがとうございました。</p> <p>それでは、質疑をお受けしたいと思います。事務局からの説明について、ご質問、ご意見がありましたら、ご発言をお願いいたします。</p>
西田委員	<p>日頃、自分の自動車で市内を移動していますが、バスとすれ違う際に中を覗くと、乗っている人が非常に少ないと感じています。市からの補助金をもらいながら維持されていると思いますが、利用者の増加や効率化は図れないのかと思ってしまう。</p> <p>先ほど、事業者の方からの説明を聴くと、人員不足や働き方改革という現状の中で、様々な工夫をされていることが分かりましたが、事業者の方が考えている方策があれば聴かせてほしいと思います。</p>
加藤委員	<p>利用者の増加や効率化は、非常に難しい部分があります。1日を通して、10人ほど乗る時間もあれば、1、2人や0人という時間帯もあります。また、学校がある日とない日での違いや、イベントがあり利用者が多くなる日もあります。どこかで線引きして、5人乗り、10人乗りのような小さな車で運行することも考えなければならないと思っています。そういった場合、時間帯や日によって乗り切れなくなってしまう可能性も出てきますが、仕方ないことだと考えなければならないのかなと感じつつあります。</p>
宮崎委員	<p>当社が関わっている路線は、そこまで広範囲ではないが、過渡期なのかなと思っています。現在、かろうじてバスの運行に係る最低乗員数は達しています。当社は外房地域でも運行していますが、今後、少子高齢化の影響で利用が減っていくと、大きなバスでは運行できなくなり、順次バスを小型化したり、デマンド型やコミュニティバスに切り替えていくといった流れが顕著になってきています。今後、他の地域でもそのように考えていく必要があると考えています。</p>
議長 (鈴木会長)	<p>ありがとうございます。</p> <p>他の意見や質問はいかがでしょうか。</p>

赤川委員	<p>昨年と今年にバスのお試し乗車を3路線で利用しました。</p> <p>代宿・袖ヶ浦バスターミナル線は、朝の通勤時間ではなかったが、夕方は工業団地からのバスの利用者が多かった印象でした。</p> <p>のぞみ野・長浦線は学生が3人ほど乗っていました。長浦駅でその方々にバスを利用する理由を尋ねると、両親とも就労しており、送り迎えできない日はバスを利用しているとのことでした。</p> <p>平岡線は、ほとんど0人でした。</p> <p>2年間利用したが、同じ状況でした。</p> <p>また、現状として高齢者は、子と同居していても、子が通勤に自動車を使ってしまうため、バスを利用しているようです。</p> <p>利用者を増加させるために、交通空白地帯でイベント等を開催してみてもはどうでしょうか。木更津の馬来田は道の駅ができてから、賑やかになったと聞いています。袖ヶ浦も同じような取組みをしてみれば、人の流れができて、バスの利用にも役立つと思います。</p>
議長 (鈴木会長)	<p>ありがとうございます。</p> <p>新たな目的ができると、新たな人の流れが生まれる可能性はあります。</p> <p>例えば、バス路線沿線にある施設を上手に活用してイベントを企画するという方法は良いと思います。お試し乗車とイベントの時期を合わせるといった取組みも効果を生み出すと思います。</p> <p>普段バスを利用していない人にとって、初めて乗る際には非常に勇気がいります。いかにしてきっかけを作るかということを念頭に置いて、参考にしてもらえればと思います。</p> <p>他に、いかがでしょうか。</p>
高浦委員	<p>資料のP3に、補助額が記載されていますが、バス事業者はこの補助額をもって、収支が取れていると判断していいのでしょうか。それとも、補助額をもってしても赤字なののでしょうか。</p>
事務局 (安藤副主査)	<p>赤字額を補填しております。基本的には、この補助額をもってして、収支がプラスマイナス0になるものです。</p>
高浦委員	<p>収入額はいくらでしょうか。それが分からないと、規模が把握できず、この補助額を別の方法に使用できるかどうかの検討がしづらい。また、補助額の上限は決めているのでしょうか。</p>
事務局 (小島次長)	<p>上限額は決めておりません。既存の公共交通を維持して活用するという方針であるため、活用がなされれば、利用者が増え、収入が上がるため、補助額が減っていくというものです。</p>

<p>加藤委員</p>	<p>収入と経費の差し引きで補助金をもらっています。袖ヶ浦市内の路線では収支はプラスマイナス0となっています。袖ヶ浦市に限らずに全路線トータルで見ると、赤字です。この赤字は高速バスの収入で補っています。</p> <p>収支という話も大事ですが、一番の問題は、運転手の確保です。そのため、補助金をもらえばその路線が維持できるというわけではありません。ハローワークでの掲載や、社員向けに紹介制度を導入したりしているが、人員は確保できません。</p>
<p>事務局 (小島次長)</p>	<p>参考までに、現在補助額が一番大きい平岡線の運送収入は、平成29年度で約820万円、平成30年度で約970万円です。</p> <p>先ほど、加藤委員から全路線で見ると赤字という話がありましたが、全ての路線で各市町村からの補助金が出ているわけではありません。出ない路線で赤字があれば、企業としての路線バス事業は赤字となります。</p>
<p>黒澤委員</p>	<p>10路線ある内の、4路線でしか補助金が出ていないが、他の6路線では黒字でしょうか。</p>
<p>事務局 (安藤副主査)</p>	<p>姉ヶ崎線は、市域をまたぐ路線のため、国及び県の補助により運行を維持しております。三井アウトレットパーク木更津・袖ヶ浦駅線については、補助していないため、黒字だと思われれます。</p>
<p>議長 (鈴木会長)</p>	<p>国や県の補助路線は2路線ということでしょうか。</p>
<p>事務局 (小島次長)</p>	<p>馬来田線と姉ヶ崎線の2路線です。その他に、中郷・富岡線は、廃線になったものを、木更津市が事業者に委託して運行しているため、袖ヶ浦市として、補助はしておりません。路線の形態によって、補助の有無やどこからの補助なのかが異なります。</p>
<p>宮崎委員</p>	<p>三井アウトレットパーク木更津・袖ヶ浦駅線は赤字ではないです。しかし、路線バス事業単体で黒字になっている路線は、限りなく少ない状況です。</p>
<p>黒澤委員</p>	<p>利用したいけれども、運賃が高いという声を聞く。安くしてもらえると助かります。</p>
<p>高浦委員</p>	<p>のぞみ野から長浦駅まではいくらでしょうか。</p>
<p>宮崎委員</p>	<p>310円です。</p>
<p>影山委員</p>	<p>のぞみ野のバスは、私たちからすれば大変ありがたいものですが、ほと</p>

	<p>んどの家で学生は自動車での送迎です。赤字は当然だと思います。私も利用しますが、多くて3人くらいしか乗っていません。</p>
宮崎委員	<p>参考までに、のぞみ野発9：20が多くて、24人です。これが一番利用の多いもので、他の時間帯は2人や3人です。</p>
高浦委員	<p>車両の大きさに制約はありますか。</p>
宮崎委員	<p>特にありませんが、その路線専用で使用しているわけではないため、他の路線との兼ね合いで大きい車両であったり、小さい車両であったりします。できる限り小さい車両を使用するようにはしています。現状を考えると、もう一回り小さい車両でもいいのかなと思います。</p>
高浦委員	<p>車両を小さくすれば、その分経費も安くなると思いますが、どうでしょうか。</p>
宮崎委員	<p>小さいバスほど購入費用が高くなります。</p>
議長 (鈴木会長)	<p>今、宮崎委員から話がありましたが、小さい車両ほど購入費用が高くなります。乗り合いバスですと、交通バリアフリー適合車でなければならぬ等の制約があるため、高くなります。</p>
宮崎委員	<p>利用者の多い時間と少ない時間でその都度車両を変えることは、時間の制約もあり、難しいです。 利用者の多い朝に出した大きい車両は、どうしても午前中は使用してしまうし、また、夕方に合わせて、午後の早い時間から大きな車両を使用しなければならないのが現状です。</p>
議長 (鈴木会長)	<p>様々な事情の中でバス路線を維持しているということです。 他に何か意見はありますか。 無いようですので、次の議題2「今年度の取組状況について」に移りたいと思います。 事務局より説明をお願いします。</p>
議長 (鈴木会長)	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">事務局より、資料に基づき説明</p> <p>ありがとうございました。 それでは、質疑をお受けしたいと思います。 ただ今の事務局からの説明について、ご質問、ご意見がありましたら、ご発言をお願いいたします。</p>

<p>西田委員</p>	<p>高齢者の免許自主返納の取組みについてですが、考慮しなければいけない点があると思っています。私の地域は平岡地区で高齢者が多く住んでおり、中には危ない運転をする人もいます。返納をすると、家族と同居していても引き籠りになる人が出てきています。引き籠りになると、直接的な原因かどうかは別として、実態とすれば、要支援だった人が要介護になったり、要介護1，2だった人が、要介護3，4になったりする等があります。家族がいるから返納しても問題ない考える人がいますが、家族がいても、遠慮があるのか車を出してもらうことを頼めず、なかなか外に出なくなる人がいます。そうすると一日の大半を、新聞を読むかテレビを見るかに使うこととなります。</p> <p>私は毎月回覧物を出す際に、免許返納制度のお知らせが入っている場合には、家族で十分検討してから免許返納してくださいということを書き添えています。</p> <p>免許返納制度について、高齢者の交通事故を防ぐという面もあるため、決して異を唱えるつもりはありませんが、反面としてこのようなこともあるということを経験してもらいたいと思います。</p> <p>今日は、高齢者支援課の方が来ているので申し上げますが、十分に検討をしてから制度を進めてもらいたいと考えています。</p>
<p>事務局 (野呂課長)</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。返納者の方々がその後引き籠りになるということは把握しておりませんでした。高齢者支援課でも、家庭訪問等の中で留意してみたいと思います。</p> <p>アンケートの中で困っている人は少ないが、少ないながらも困っている人がいることは確かなので、一部の本当に困っている人に対してサービスが届くように、施策を検討している段階であります。</p>
<p>事務局 (小島次長)</p>	<p>西田委員がおっしゃったように、免許返納したことによって外出しなくなり、引き籠りになって介護給付が増えてしまうといったことは推測されることだと思います。ただし、返納する際には家族できちんと相談をしてもらい、返納後の外出については家族で助けたり、地域で催しごとを行ったり、ふれあいの場を形成する等の外出の頻度を多くするような取組みを行うことによって、引き籠りについてはある程度予防できると考えております。</p> <p>例えばデマンドタクシーといったような、返納前と同程度に外出できるような制度設計ができれば一番いいと考えがちですが、市町村でデマンドタクシーを行う場合、市町村の区域は出られないといったような制約もあるため、返納後のニーズに応えられるのか疑問に思う部分があります。</p> <p>もう1点、大きなこととして、袖ヶ浦市内の主要幹線道路では路線バスが運行されております。久留里線については、利用者数が減少しているものの、地域にとっては大事な鉄道となっております。さらに、仮に市がデマンドタクシーを行ったとしても、早朝や深夜といった時間には運行でき</p>

	<p>ないため、タクシーについても、大事にしていかななくてはならないものです。このようなことから、これからの移動支援対策については、十分に検討したうえで、取り組まなければならないと考えております。</p> <p>しかしながら、先ほど高齢者支援課長が申し上げたように、現時点で困っている人がいることから、短期的に何らかの対策を、福祉分野も含めて検討している段階です。</p> <p>そういった中で、短期的な取組みと、中長期的な取組みを十分に考えたうえで、今後の公共交通のあり方を作り上げたいと考えております。</p>
黒澤委員	<p>資料P12の公共交通施策の比較について、コミュニティバスの経常経費が記載されていますが、有料のほうが無料より高いのはなぜでしょうか。</p>
事務局 (小島次長)	<p>コミュニティバスを有料で運行するためには、道路運送法上の許可が必要となります。それを取得し運行するには、バス事業者に委託しなければなりません。一方無料であれば、市町村の貸し切りとして運行できます。この2つを比較すると、無料で運行したほうが、経費が安くなります。</p>
黒澤委員	<p>無料の場合は、市の直営ということでしょうか。</p>
事務局 (小島次長)	<p>直営という形態になります。</p>
議長 (鈴木会長)	<p>杉田委員に伺います。管内の免許返納の動向はどうなっているでしょうか。</p>
杉田委員	<p>昨年よりは増えています。袖ヶ浦市より木更津市のほうが3倍近い返納となっています。</p>
赤川委員	<p>返納する年齢層はどうなっていますか。</p>
杉田委員	<p>75歳以上の方が多いです。</p>
赤川委員	<p>全国的な平均年齢層と比べると、あまり違いがないと思います。今後は、公共交通に頼る人が増えてくると、楽観的に考えていましたが、先ほどの話のように引き籠りが増えてくると、別の視点、例えば都市計画と合わせた考え方をしなければいけないと思います。次期総合計画の中でどのように位置づけられるのかは分かりませんが、市街化調整区域をはずすことも含めて、多面的にとらえてみてはいかがでしょうか。</p>
事務局 (小島次長)	<p>まちづくりを考えていく中で、どのように交通を配置していくかということが重要だとは認識しておりますが、既にまちが形成されている中で、</p>

	<p>どのように誘導していくのかということは、非常に難しい部分があります。しかし、おっしゃるとおり、まちづくりと交通を一体に考えることが必要ということは同じように感じております。</p>
<p>議長 (鈴木会長)</p>	<p>そろそろ意見を集約したいと思います。斯波委員は何か意見はありますでしょうか。</p>
<p>斯波委員</p>	<p>この協議会で出た委員の方々の意見を参考にして進めてもらえればと思います。</p>
<p>池田委員</p>	<p>先ほど、短期的に早急に対応しなければいけない取組みと、中長期的な取組みの話がありましたが、短期的な取組みについては、いつを目途に開始しようとしているのでしょうか。</p>
<p>事務局 (小島次長)</p>	<p>短期的な取組みについては、令和2年度から実施できるような取組みの検討を進めております。例えば企業送迎バスの空席を利用した取組み等、既存のものを活用した取組みができないかといったような検討を進めております。</p>
<p>議長 (鈴木会長)</p>	<p>委員の皆様から頂いた意見を基に、施策を具体化したり、検討を深めたりしなければなりません。そのような意味で意見を頂きました。</p> <p>これからは知恵を出していかなければならない状況になってきており、今のままの交通では必要な移動手段の確保は難しくなってきました。難しくなっているから、先ほどの話の引き籠り等が課題として挙がってきたわけです。そのような状況で、一つ言えることは、既存のものを上手に活用したほうが、経費や手間の面から効率的だと思います。既存のものでは賄いきれない部分については、地域で知恵を出し合わなければいけません。地域の特徴を考えたらうで、上手く既存の交通手段に結び付けたほうが、袖ヶ浦市の交通にも役立つし、市民の方々の移動手段にも役立つと考えております。</p> <p>そのようなこともあり、今後もこの協議会の中で、意見やアイデアを頂きたいと思っております。</p> <p>他に意見が無いようであれば、この議題は終了とさせていただきます。</p> <p>議題3「その他」ですが、まず、委員の皆様から何かあればお願いいたします。</p> <p>無いようですので、事務局から報告があればお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>本日御欠席されました委員にも資料及び会議報告書を送付いたします</p>

<p>(近藤副参事)</p>	<p>ので、よろしくお願いいたします。</p> <p>また、次回会議についてでございますが、来年2月頃を予定しております。日時等が決まりましたら、通知させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>議長 (鈴木会長)</p>	<p>それでは、議題3を終了いたします。</p> <p>以上で、本日予定された案件の審議は、全て終了しました。 ご協力ありがとうございました。</p>
<p>事務局 (近藤副参事)</p>	<p>委員の皆様におかれましては、長時間にわたりご審議等を頂きましてありがとうございます。</p> <p>以上をもちまして、令和元年度袖ヶ浦市地域公共交通活性化協議会を閉会といたします。</p>

令和元年度 第1回袖ヶ浦市地域公共交通活性化協議会
会 議 次 第

日 時：令和元年8月26日(月)午後2時00分
場 所：袖ヶ浦市役所旧館3階大会議室

- 1 開 会
- 2 委嘱状の交付
- 3 市長あいさつ
- 4 委員の紹介
- 5 事務局紹介
- 6 袖ヶ浦市地域公共交通活性化協議会の役割について
- 7 役員を選出について
- 8 会長あいさつ
- 9 議 題
 - (1) 公共交通の状況について【資料1】
 - (2) 今年度の取組状況について【資料2】【参考資料】
 - (3) その他
- 10 閉 会

袖ヶ浦市地域公共交通活性化協議会規約

(設置)

第1条 袖ヶ浦市内の地域公共交通の現状及び課題を明らかにするとともに、持続可能な公共交通ネットワークを形成することを目指し、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（以下「法」という。）第5条第1項に規定する地域公共交通網形成計画の策定に向けた準備を行うため、袖ヶ浦市地域公共交通活性化協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(事務所)

第2条 協議会の事務所は袖ヶ浦市坂戸市場1番地1袖ヶ浦市役所内に置く。

(所掌)

第3条 協議会は、第1条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 袖ヶ浦市内の地域公共交通ネットワークに関すること。
- (2) 地域公共交通網形成計画に関する調査研究
- (3) 前各号に掲げるもののほか、協議会の目的を達成するために必要な事項

(組織)

第4条 協議会は、委員20人以内で組織する。

2 委員は、次の各号に掲げる者のなかから市長が委嘱する。

- (1) 袖ヶ浦市長又はその指名する者
- (2) 一般旅客自動車運送事業者及びその組織する団体
- (3) 住民又は旅客
- (4) 関東運輸局長又はその指名する者
- (5) 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体の代表者又はその指名する者
- (6) 学識経験を有する者その他本協議会の運営上必要と認められる者
- (7) 千葉県警察内から市長が委嘱する者
- (8) 道路管理者
- (9) 前各号に掲げる者のほか、市長が必要と認める者

(任期)

第5条 委員の任期は2年とする。ただし再任は妨げない。

2 前条に掲げる委員のうち行政機関の職員及び団体の役員については、その職にある期間とする。

3 前号以外の委員については、欠員により新たな委員となった者の任期は、

前任者の残任期間とする。

(役員)

第6条 協議会には、次の役員を置く。

(1) 会長 1名

(2) 副会長 1名

2 会長は、第4条に掲げる委員の互選によってこれを定める。

3 副会長は、第4条に掲げる委員のうちから会長が指名する。

4 会長は、協議会を代表し、その会務を総理する。

5 副会長は、会長を補佐し、協議会の業務を掌握し、会長に事故があるとき又は欠けたときは、会長の職務を代理する。

(会議)

第7条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議の開催場所及び日時は、会議に付議すべき事件とともに、会長があらかじめ委員に通知しなければならない。

(会議の運営)

第8条 協議会は、委員の過半数の出席がなければ開会することができない。

2 会議の議決方法は、出席した委員の過半数をもって決する。可否同数の場合は、議長の決するところによる。

3 会議は原則として公開とする。ただし、会議を公開することにより公正かつ円滑な議事運営に支障が生じると認められる協議については、非公開で行うものとする。

4 協議会は、必要があると認めるときは、委員以外の者に対して、資料を提出させ、又は会議への出席を依頼し、助言等を求めることができる。

5 前4項に掲げるもののほか、会議の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(分科会)

第9条 第3条各号に掲げる事項について専門的な調査、検討を行うため、必要に応じ協議会に分科会を置くことができる。

2 分科会の組織、運営その他必要な事項は、会長が別に定める。

(秘密の保持)

第10条 委員は、委員であることにより知り得た個人情報等を他に漏らしてはならない。又、解職後も同様とする。

(個人情報保護)

第11条 委員は、委員であることにより知り得た個人情報を袖ヶ浦市個人情報保護条例(平成8年条例第15号)の本旨に従い個人の権利利益を害することのないよう、個人情報を適正に取り扱わなければならない。

(事務局)

第12条 協議会の事務を処理するため、協議会に事務局を置く。

- 2 事務局は、袖ヶ浦市企画財政部企画課に置く。
- 3 事務局に事務局長、事務局員を置き、会長が定めた者をもって充てる。
- 4 事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(経費の負担)

第13条 協議会の運営に要する経費は、国の補助金、他の団体等からの負担金、繰越金及びその他の収入をもって充てる。

(監査)

第14条 協議会に監査委員を2人置く。

- 2 協議会の出納監査は、第4条に掲げる委員のうちから会長が指名する。
- 3 前項の規定により指名を受けた監査委員は、監査の結果を会長に報告しなければならない。

(財務に関する事項)

第15条 協議会の予算の編成、現金の出納その他財務に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(協議会解散の場合の措置)

第16条 協議会が解散した場合においては、協議会の収支は解散の日をもって打ち切り、会長であった者がこれを決算する。

(委任)

第17条 この規約に定めるもののほか、協議会に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規約は、平成21年11月5日から施行する。

(委員の任期の特例措置)

- 2 第5条の規定にかかわらず、最初に委嘱される委員の任期は、平成23年3月31日までとする。

袖ヶ浦市地域公共交通活性化協議会の役割について

1. 袖ヶ浦市地域公共交通活性化協議会の役割について

袖ヶ浦市内の地域公共交通の現状及び課題を明らかにするとともに、持続可能な公共交通ネットワークの形成に向けた調査、研究を行うことです。

2. 構成委員について

公共交通については、行政や交通事業者のみならず、広く住民に利用される移動手段であり、その意見を伺う必要があることから、各分野から幅広く委員を選出しております。

- (1) 袖ヶ浦市長又はその指名する者（袖ヶ浦市企画財政部長）
- (2) 一般旅客自動車運送事業者及びその組織する団体（バス事業者・タクシー事業者）
- (3) 住民又は旅客（自治連選出委員、公募委員、シニアクラブ連合会）
- (4) 関東運輸局長又はその指名する者（千葉運輸支局）
- (5) 一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体の代表者又はその指名する者（バス事業者乗務員代表）
- (6) 学識経験を有する者その他本協議会の運営上必要と認められる者（交通ジャーナリスト）
- (7) 千葉県警察内から市長が委嘱する者（木更津警察署交通課長）
- (8) 道路管理者（君津土木事務所維持課長）
- (9) そのほか、市長が必要と認める者（千葉県交通計画課、袖ヶ浦市社会福祉協議会）

3. これまで検討してきた事項について

- (1) 袖ヶ浦市の公共交通の現状等について
- (2) 本市の今後の状況変化
- (3) 公共交通に関する今後の課題について
- (4) 市内公共交通の役割及び基本方針について
- (5) 基本方針を踏まえた実施事業について

議題（1）公共交通の状況について

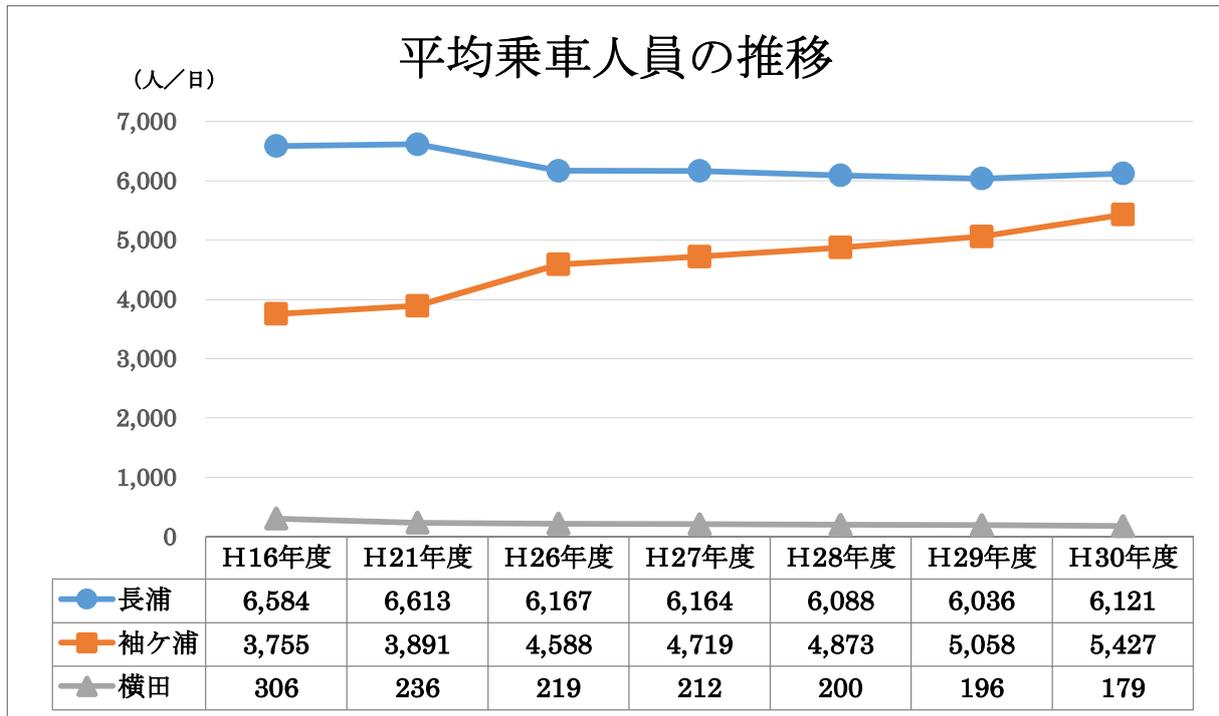
1. 鉄道について

（1）JR内房線・久留里線の状況について

◆ 運行本数

JR内房線（長浦駅、袖ヶ浦駅）・・・72本/日 1時間に4本程度

JR久留里線（横田駅、東横田駅）・・・17本/日 1時間に1本程度



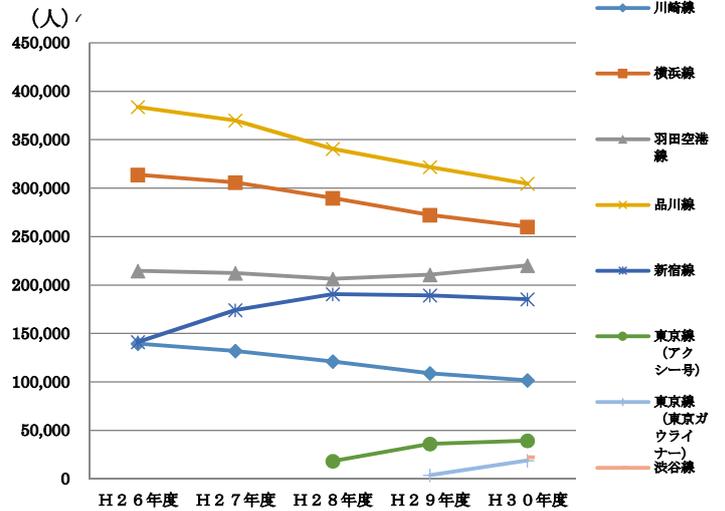
- ◆ 長浦駅は通勤・通学者の減少等により利用者数も微減傾向にあるが、平成30年度乗車人員は前年度を上回っている
- ◆ 袖ヶ浦駅は平成24年4月の三井アウトレットパーク木更津のオープンに伴い、増加傾向が続いている
- ◆ 横田駅は、沿線人口の減少や私立高校のスクールバスの運行などから減少傾向に歯止めがかからない状況となっている

2. 高速バスについて

(1) 高速バスの状況



■ 運行先と運行時間



■ 高速バス路線別利用者数 (袖ヶ浦BT)

	便数		利用者				
	平日	土休日	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
川崎線	30	20	139,584	132,080	121,208	108,890	101,822
横浜線	44	44	313,760	305,820	289,990	272,500	260,042
羽田空港線	37	37	214,556	212,412	206,426	210,596	220,372
品川線	62	39	383,618	370,010	340,674	321,816	304,524
新宿線	37	36.5	141,298	174,042	190,498	189,280	185,466
東京線 (アクシー号)	20	20			18,176	36,240	39,340
東京線 (東京ガウライナー)	8.5	6				3,922	19,016
渋谷線	23	23					22,590
合計	261.5	225.5	1,192,816	1,194,364	1,166,972	1,143,244	1,153,172

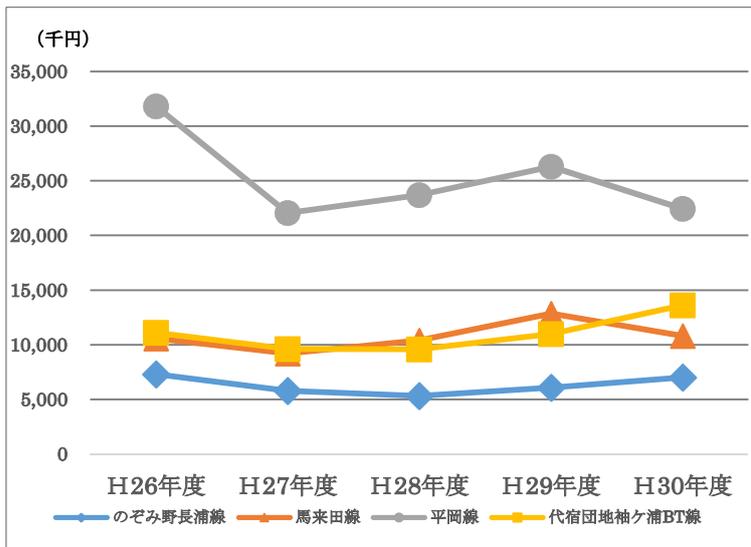
- ◆ 通勤・通学者の減少や平成28年6月に木更津金田バスターミナルが移転新設され、新宿線、品川線、横浜線などの一部の便が木更津金田バスターミナルへ乗り入れを開始したことにより、平成27年度をピークに袖ヶ浦バスターミナルの利用者は減少していたが、平成30年度は前年度利用者数を上回った
- ◆ 平成31年4月のダイヤ改正により、土休日午後の一部の便において木更津金田バスターミナルを通過する便が増加している

3. 路線バスについて

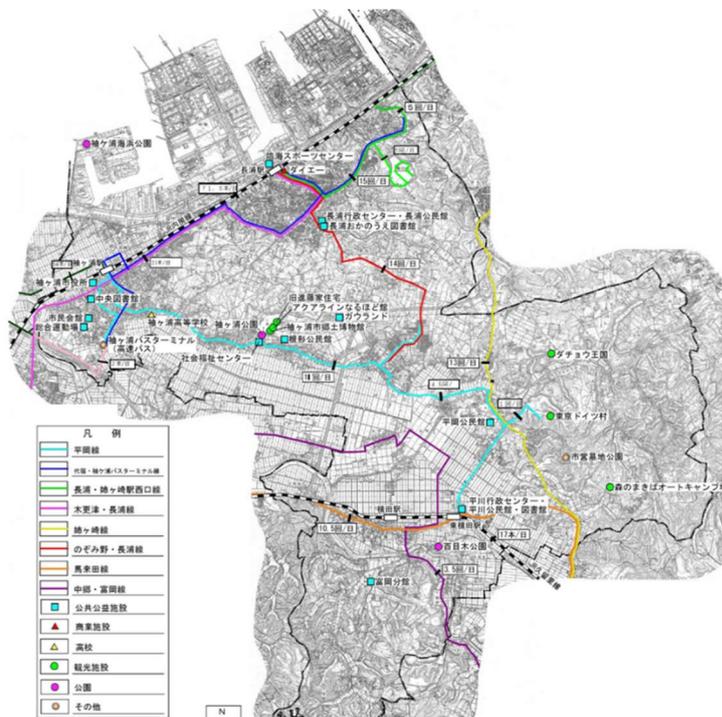
(1) 路線バスの状況

◆ 運行本数

三井アウトレットパーク線以外は最大でものぞみ野長浦線の14便/日となっており、その他の路線とも1日に10便前後の運行本数



■ 路線バス補助金額



■ バス路線図

路線名	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
のぞみ野長浦線	7,303,501	5,784,764	5,310,324	6,084,572	7,019,605
馬來田線	10,589,837	9,192,411	10,386,174	12,855,460	10,811,182
平岡線	31,825,000	22,047,000	23,705,000	26,304,000	22,445,000
代宿団地袖ヶ浦BT線	11,087,000	9,613,000	9,589,000	10,983,000	13,606,000
合計	60,805,338	46,637,175	48,990,498	56,227,032	53,881,787

- ◆ 平岡線はH26年6月の電車との接続や利用状況に応じたダイヤ改正を行ったことにより、大幅に減少したが依然として補助金額が他の路線に比べ多い
- ◆ 燃料費等の経常経費の増加により、補助金は増加傾向にあったが、前年度は平岡線の収入が大きく増加したことから、4路線合計の補助金額が減額となった

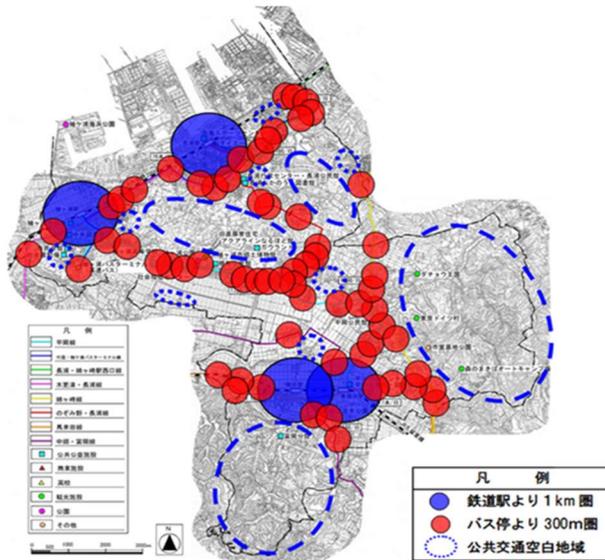
4. 交通空白地域について

(1) 本市における交通空白地域の考え方

本市における交通空白地域は以下のとおりとした。

◆ 交通空白地域

鉄道駅より 1 k m 以遠及びバス停より 3 0 0 m 以遠



■交通空白地域

(2) これまで実施してきた交通空白地域での施策の経過

平成15年度から、交通空白地域における高齢者等の交通弱者の方の移動手段を確保するための施策を実施してきた。



循環バス「ガウラ号」
H15.10～H22.9



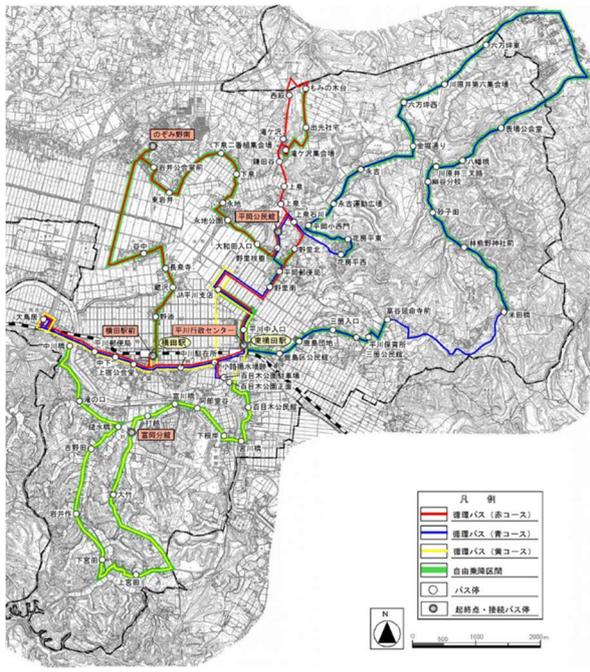
デマンド型乗合タクシー
「平川おでかけタクシー」
H22.10～H25.3



地域支え合い活動支援事業
「平川いきいきサポート」
H25.11～現在



循環バス「ガウラ号」の運行	
■運行概要	
運行期間	H15年10月～H22年9月
運行ルート	3コース（平川地区）
運賃	100円
運行日数	308日/年
利用者数	約3,800人/年 (約12人/日、約2名/1便)
収支率	約3%
負担額	約1153万円/年



○ 課題

◆ 利用者ニーズ・事業採算性の問題

- ・ 1便当りの利用者は2名程度（空気を運ぶバス？）
- ・ 運行に係る年間支援額が約1,153万円
- ・ 利用者1人あたりの運行コストが約3,000円

◆ 運行方法・仕組みの問題

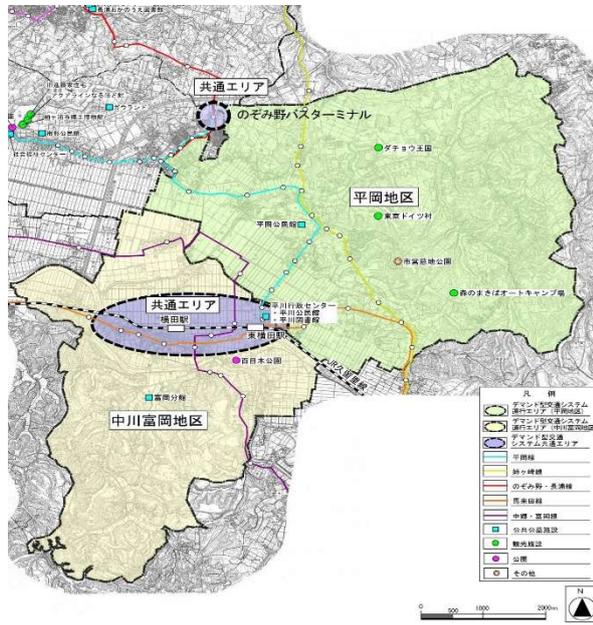
- ・ 定時定路線型巡回方式により、利用者がいなくても運行するためコストがかかる
- ・ 固定ルートのため目的地まで時間を要する
- ・ 停留所まで行ける方しか利用できない

◆ 循環バスを利用しない理由

- ・ 他の交通手段がある（89.5%）
- ・ 行きたい目的地がない（10.7%）
- ・ 目的地まで時間がかかる（7.3%）

運行廃止・新たなシステムの検討・導入へ

デマンド型乗合タクシー「平川おでかけタクシー」	
■運行概要	
運行期間	H22年10月～H25年3月
運行区域	原則平川地区
運賃	平川地区内線 300円/回 袖ヶ浦・長浦線 500円/回 ※障がい者及びその介助者、幼児は無料
利用者数	約1,517人/年 (約6.1人/日)
収支率	約4.7%
負担額	約771万円/年



○ 課題

◆ 利用者ニーズ・事業採算性の問題

- ・ 1便あたりの利用者は1名程度
- ・ 利用者1人あたりの運行コストは約5,000円
- ・ 運行維持に伴う行政負担の増大 (約771万円/年)
- ・ 利用者が特定されるため、公共交通としての位置付けが困難

◆ 運行方法・仕組みの問題

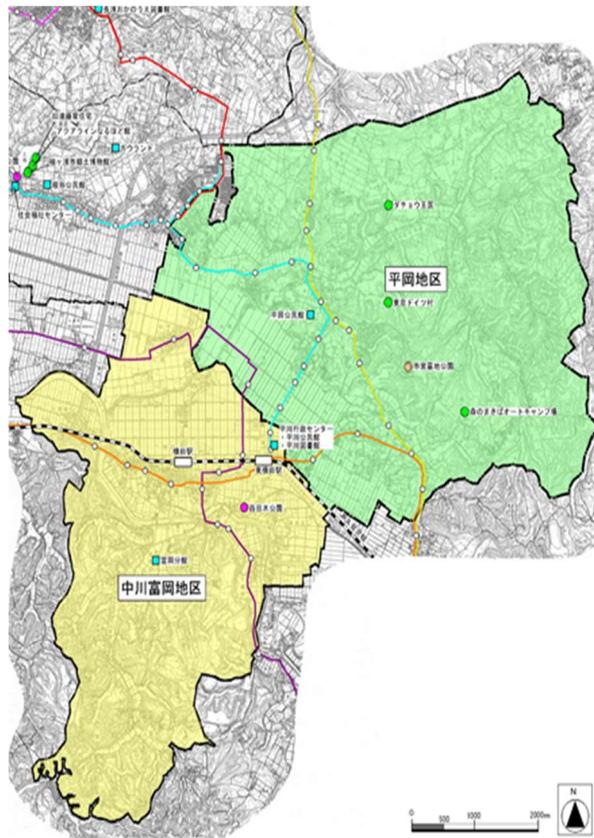
- ・ 利用の際、予約が必要となる (高齢者にとって手続きが面倒)
- ・ 病院などで診察が延びた場合、予約した便に乗れない (帰りの手段が確保できない)
- ・ タクシーという狭い空間に他人と乗り合うことへの抵抗感
- ・ 路線バスや鉄道駅など基幹交通へ接続する補完的システムであるという理解が得られない

◆ 地域が持つ地縁関係や地域のつながり

- ・ 交通空白地域がまとまって存在し、高齢化率が高い地域であるものの、地域特有の地縁関係や地域内のつながりにより需要が少ない

運行廃止・新たな仕組みづくりの検討・導入へ

地域支え合い活動支援事業「平川いきいきサポート」	
■運行概要	
運行期間	H25年11月～
運行区域	原則平川地区
利用料	<p>■家事支援 最初の1時間は700円 1時間以降 400円/30分</p> <p>■外出支援 燃料費代等実費のみ</p>
利用者数	<p>■外出支援：2,424人/年 (15.2人/日)</p> <p>■家事支援：23人/年</p> <p>■ふれあい支援：251人/年</p>
収支率	約29.0%
収支状況	<p>■収入：820,952円</p> <p>■支出額：2,832,648円</p> <p>■補助金額：1,996,696円</p> <p>■車両リース代：764,640円</p>



○ 課題

- ◆ 提供会員の高齢化、継続のための後継者の確保
- ◆ 利用回数の増加に伴い、希望する日時に対応できないこともある

5. 本市における公共交通の基本方針について

(1) 公共交通の基本方針について

地域公共交通活性化協議会において、袖ヶ浦市の現状と今後の状況変化を踏まえ、袖ヶ浦市の公共交通の課題、基本方針を次のとおり整理してきました。

課題

- (1) 利用状況に応じた公共交通の整備及び公共交通の利用促進
- (2) 高齢化の進展や社会環境の変化などに対応した移動手段の確保
- (3) 進む都市基盤整備への対応
- (4) 観光需要への対応
- (5) 移動の担い手不足と担い手の高齢化への対応



基本方針

(1) 多様な公共機関の連携による持続可能な公共交通網の構築

多様な交通サービスを効果的に最大限活用するため、地域ぐるみの利用促進の展開や、公共交通サービスに関する情報提供、利用者・潜在利用者への意識啓発・PR、路線の変更やダイヤの改正による乗り継ぎの改善などを多面的に実施し、行政、交通事業者、地域住民、企業・団体等が、それぞれの役割分担のもと、適切な連携を図りながら、持続可能な公共交通網の構築を図る。

(2) 高齢者をはじめとする市民の移動ニーズや地域特性に対応した公共交通サービスの提供

今後、更なる高齢化の進展により、高齢者の運転免許自主返納制度を利用する人が増えていくことが見込まれることから、高齢者等でも気軽に利用することができるサービスのあり方を、その地域の実情を熟知している地域住民とともに、地域の様々な特性や、ニーズに合った持続可能な仕組みを検討する。

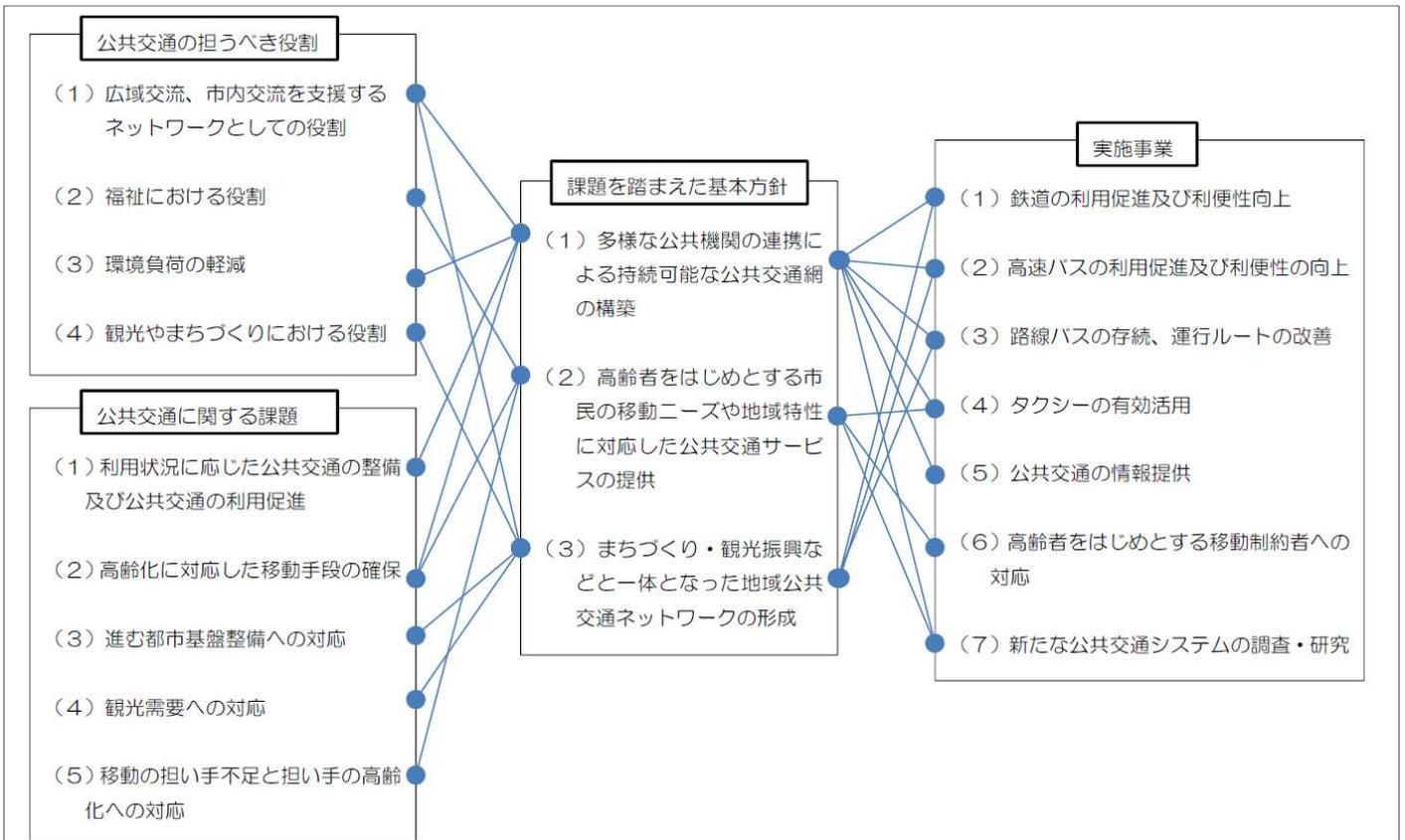
また、交通施策だけではなく、買い物等を含む生活支援や健康づくりなどについて総合的な高齢者施策を検討するとともに、移動の担い手不足や高齢化の問題についても、事業者と協力しながら対策を検討する。

(3) まちづくり・観光振興などと一体となった地域公共交通ネットワークの形成

袖ヶ浦駅海側土地区画整理事業や椎の森工業団地の整備などをはじめとするまちづくりの進展や東京ドイツ村をはじめとする観光施設等へのアクセスなどと一体で地域公共交通を考えることにより、人々が集う拠点や観光スポット等の交通結節点と市内の各地域を結ぶ交通ネットワークを形成することで、公共交通の利便性を高めるとともに、公共交通のサービスの充実と利用者の増加を一体で実現する。

基本方針を踏まえた実施事業

- (1) 鉄道の利用促進及び利便性向上（基本方針①・③）
 主な取組：J R 久留里線スタンプラリーなど
- (2) 高速バスの利用促進及び利便性の向上（基本方針①・③）
 主な取組：袖ヶ浦バスターミナルへ自販機型コンビニの設置や無線公衆 LAN の導入など
- (3) 路線バスの存続、運行ルートの改善（基本方針①・③）
 主な取組：平岡線やのぞみ野長浦線の乗降調査や利用者アンケートなど
- (4) タクシーの有効活用（基本方針①・②）
 主な取組：鉄道やバス、タクシーなどの情報を網羅した公共交通マップを作成
- (5) 公共交通の情報提供（基本方針①）
 主な取組：バスの乗り方教室や無料お試し乗車の実施など
- (6) 高齢者をはじめとする移動制約者への対応（基本方針②）
 主な取組：平川いきいきサポートの支援など
- (7) 新たな公共交通システムの調査・研究（基本方針①・②）
 主な取組：他市の事例調査など



議題（２）今年度の取組状況について

1. 無料お試し乗車の実施結果について

（１）実施概要

① 目的

路線バスの利用者が減少傾向になっており、今後も路線を維持するためには、日常的に利用してもらうことが最も効果的であることから、路線バスの新たな利用者を掘り起こすことを目的とする。

② 時期

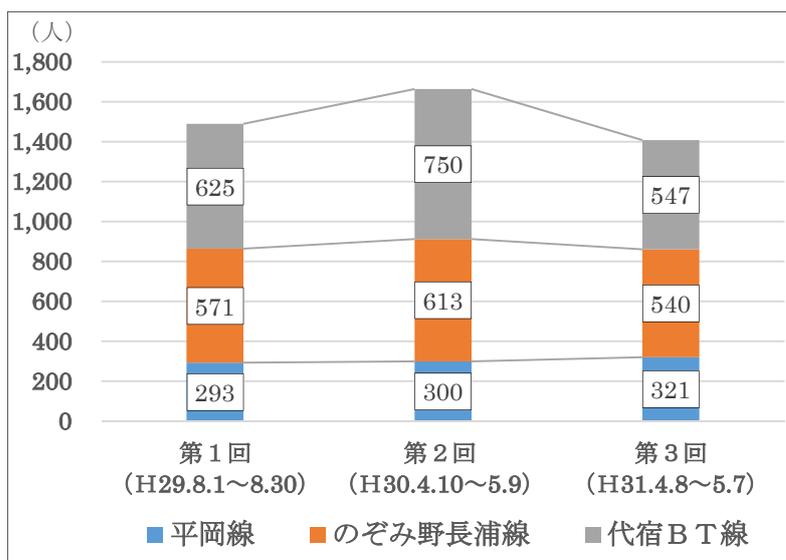
平成31年4月8日～令和元年5月7日（1か月間）

③ 対象路線

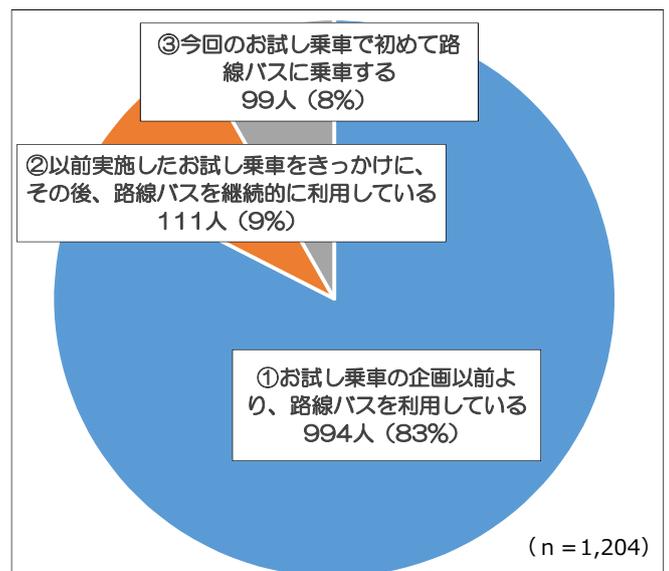
のぞみ野長浦線、平岡線、代宿団地袖ヶ浦B T線
※市内のみを運行し、市が赤字補填をしている路線

（２）結果概要

- ◆ 利用者数は、大型連休の影響もあり、前回と比べると、大きく減少した（前回比：255人減）
- ◆ 今回の取組みによって、99人が初めて路線バスに乗車した
- ◆ 無料お試し乗車をきっかけに、111人が路線バスを継続的に利用している



■利用者数



■路線バスの利用状況

2. 高齢者運転免許証自主返納支援事業助成制度について

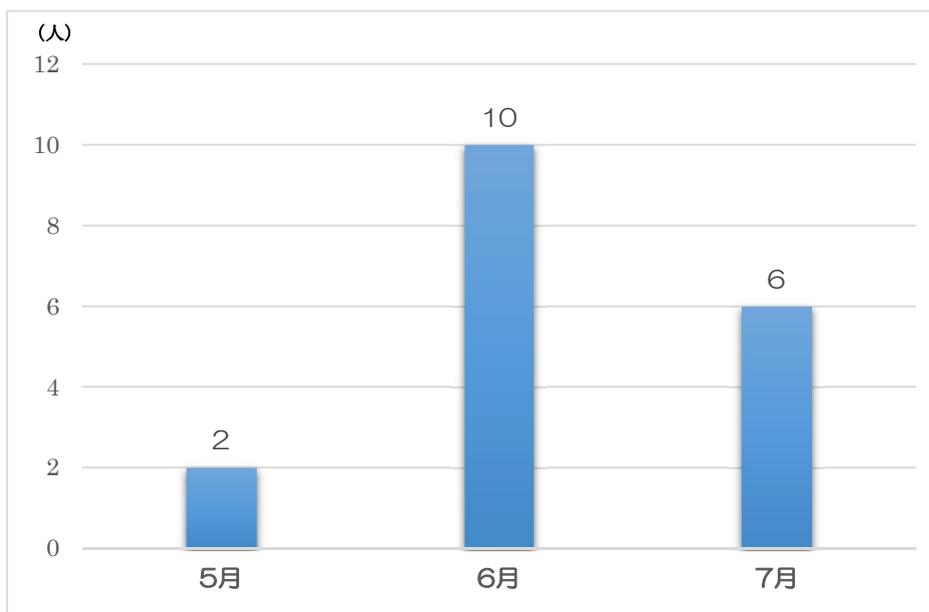
(1) 制度概要

高齢者の交通事故の減少を図ることを目的として、令和元年5月から「高齢者運転免許証自主返納支援事業助成制度」を開始した。

運転免許返納助成制度の概要	
助成対象者	① 自主返納時において、満65歳以上の市民 ② 平成31年4月1日から令和3年3月31日の間に運転免許証を自主返納し、運転経歴証明書（千葉県公安委員会発行）又はバス運賃割引優待証（ノカー・サポート優待証：日東交通㈱発行、ノカー優待証：小湊鉄道㈱発行）の交付を受けた方 ③ 市町村税（国民健康保険料含む）の滞納をしていない方 ※①～③の全ての要件を満たす方で、自主返納した日から6か月以内に申請が必要。また、助成金の申請は対象者1人につき、1回のみ。
助成金	① 運転経歴証明書 1,100円 ② ノカー・サポート優待証 520円 ③ ノカー優待証 520円 ※①～③の交付を受けたものに対して助成金を交付

(2) 申請状況

令和元年7月末時点で18人が助成金制度の申請を行っている。



■ 申請状況

3. 地域内の移動を担う交通施策の検討状況について

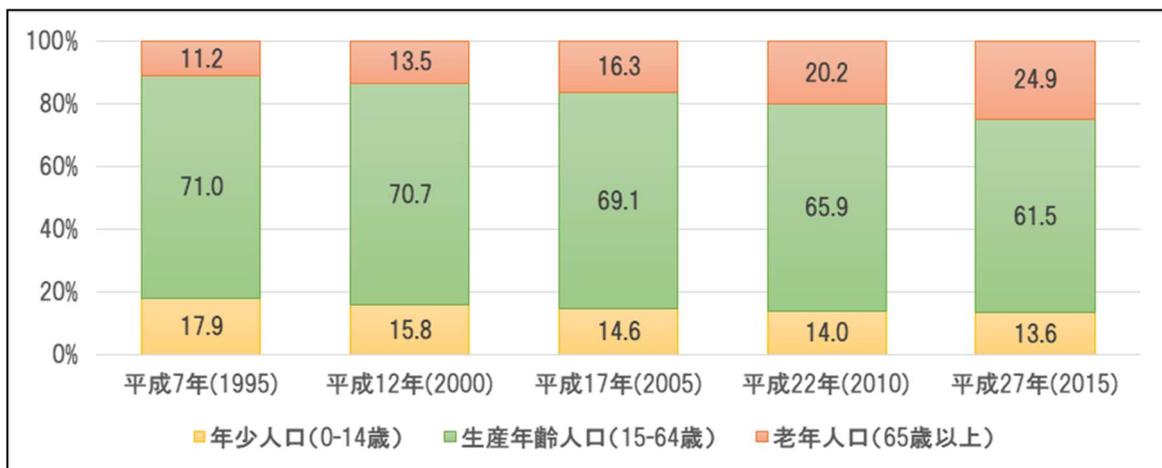
(1) 背景

運転免許証自主返納者の増加や団塊の世代の高齢化により、単身世帯の増加など、移動手段の確保が難しくなる高齢者が増えていくことが見込まれることから、高齢者の移動手段の確保を検討する必要がある、その対策について検討を進めてきた。

■住民基本台帳人口の推移（4月1日現在、単位：人）



■年齢3区分別人口の割合の推移



資料：国勢調査結果

(2) 各地域からの意見

平成29年度に行った地域のまちづくり懇談会において、公共交通に対する主な意見は次のとおりです。

■魅力・良いところ

昭和地区	長浦地区	根形地区	平岡地区	中川・富岡地区
<ul style="list-style-type: none"> ・買物に出かけるのも不便はなく、バスターミナルにより東京に行きやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通網は市内でも恵まれている 	<ul style="list-style-type: none"> ・高速バスが便利（駐車場も豊富）パークアンドライド方式が便利 		<ul style="list-style-type: none"> ・アクアラインを通じて都内に行きやすい

■課題・悪いところ

昭和地区	長浦地区	根形地区	平岡地区	中川・富岡地区
<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスなど交通が不便で買い物、病院などに行くために車が必要 ・袖ヶ浦駅でタクシーの台数が少なくなつかまらない 	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスが少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が悪いため、車がないと生活出来ず、高齢者は困ってしまう ・路線バスが少ない（本数・運行時間） ・路線バスの利用者を増やす工夫が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスが不便、本数が少ない ・交通の便が悪く高齢者が外出しにくい ・公共交通の利便性が低い 買い物も行きにくいし、終電も早い 	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの本数が少ない ・コミュニティバスで地域外に出られない ・将来的に久留里線が維持されるのか心配 ・自家用車がないと生活が成り立たない

■将来に対する提案

昭和地区	長浦地区	根形地区	平岡地区	中川・富岡地区
<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスなど年寄りでも動きやすく安心して外出できる環境を整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化社会を踏まえ路線バス、コミュニティバスを充実させて欲しい ・コミュニティバス、大型タクシー等の確立(交通弱者、コンパクトシティへの対応) ・長浦駅発で高速バスがあっても良い ・高速バスターミナルまでの足が欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスは行政による助成が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスなど高齢者の移動手段確保 ・支援タクシー、サポートカーを運用し、買い物等見守りも兼ねた助け合いの方法を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・高速バス 24 時間化、地価の安さ、自然環境の PR 等により都内からの移住を促進

(3) 外出移動支援にかかるアンケート調査結果について

① 調査概要

◆ 調査目的

袖ヶ浦市高齢者福祉計画第7期介護保険事業計画において、自家 用車での移動が困難な高齢者及び公共交通での移動が困難な高齢者への移動支援を掲げているため、事業の策定に当たり、利用者の視点に立った柔軟かつ総合的な移動支援策とするため、現状の市民ニーズの調査を行った。

◆ 調査対象者

要介護4～5を除く65歳以上の方4,000人

◆ 調査期間

平成31年1月15日(火)～2月8日(金)

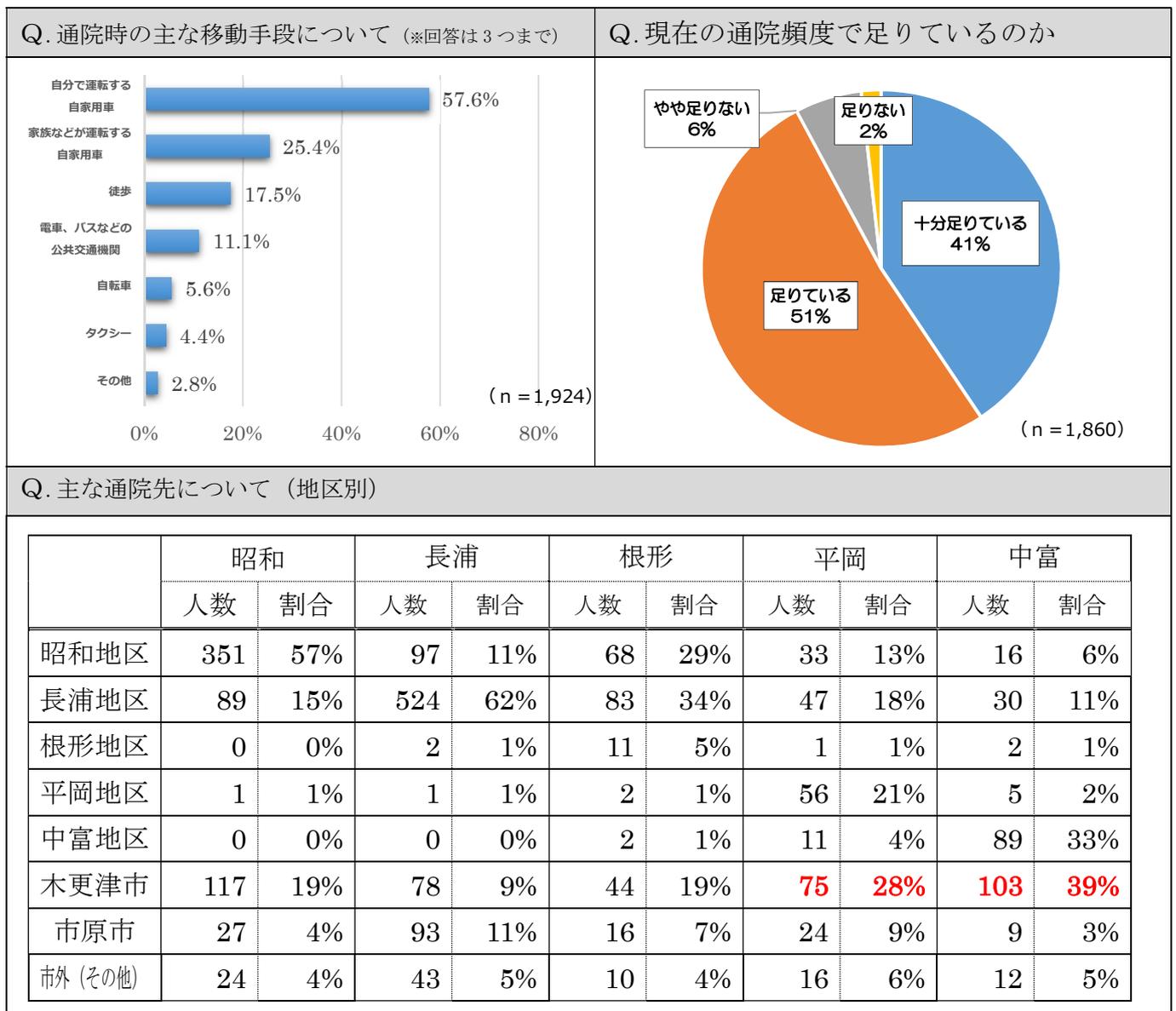
◆ 回収数

2,403件(回収率:60.08%)

② アンケート調査結果概要

◆ 通院について

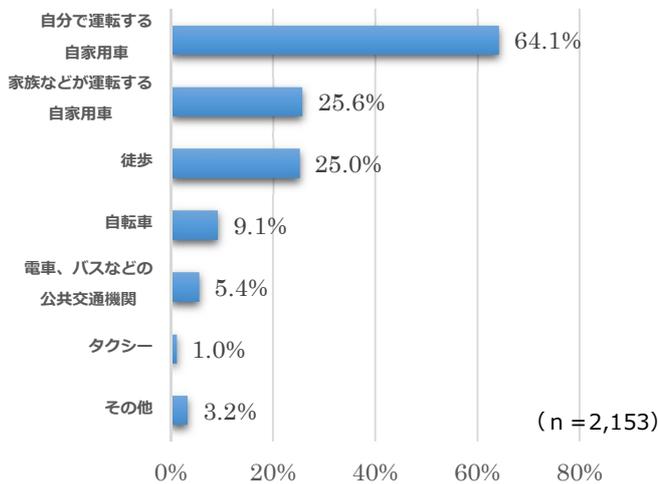
- ✓ 主な移動手段は、自家用車が多く、鉄道やバス、タクシーなどの公共交通を利用していく人の割合が少ない
- ✓ 現在の通院頻度は「十分足りている」と「足りている」を合計すると約92%となり、ほとんどの人において通院頻度が足りているという結果になった
- ✓ 主な通院先について、平川地区は木更津市方面への通院の割合が最も多い



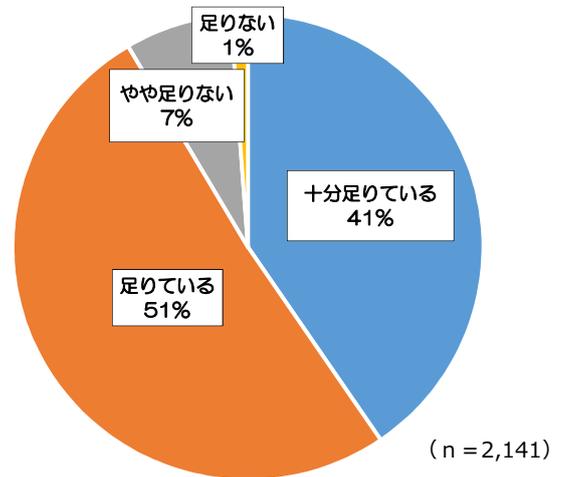
◆ 買い物（食品・日用品等）について

- ✓ 主な移動手段は、自家用車が多く、鉄道やバス、タクシーなどの公共交通を利用していく人の割合は少ない
- ✓ 現在の買い物頻度は「十分足りている」と「足りている」を合計すると約92%となり、ほとんどの人において買い物頻度が足りているという結果になった
- ✓ 主な買い物先について、平岡地区以外の地区において、木更津市で買い物をする割合が2番目に多い

Q. 買い物時（食品・日用品等）の主な移動手段について
（※回答は3つまで）



Q. 現在の買い物（食品・日用品等）頻度で足りているのか



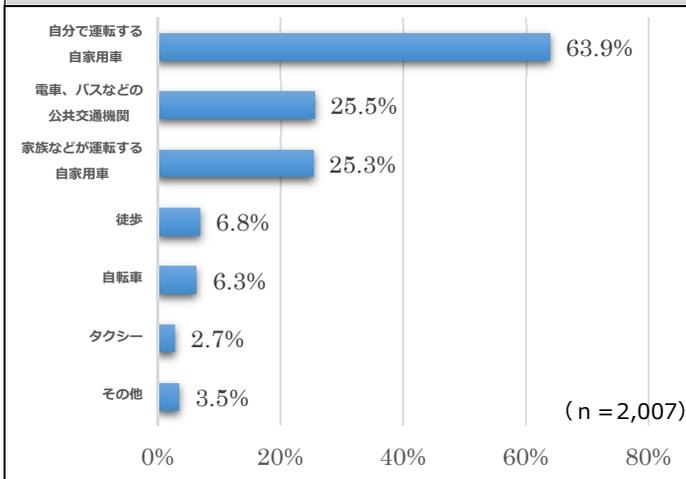
Q. 主な買い物先について（地域別）

	昭和		長浦		根形		平岡		中富	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
昭和地区	372	46%	25	2%	32	9%	8	2%	1	1%
長浦地区	132	17%	807	71%	148	43%	34	10%	4	1%
根形地区	3	1%	6	1%	38	11%	2	1%	0	0%
平岡地区	3	1%	7	1%	18	5%	149	40%	10	3%
中富地区	2	1%	2	1%	12	4%	67	19%	191	63%
木更津市	239	30%	152	14%	66	19%	49	14%	87	28%
市原市	14	2%	83	7%	16	5%	35	10%	7	2%
市外(その他)	16	2%	30	3%	12	4%	13	4%	7	2%

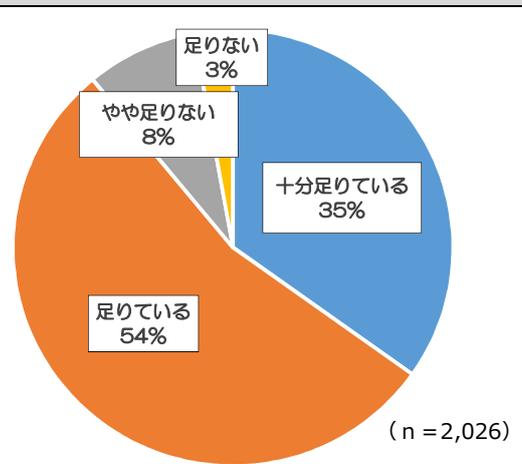
◆ 通院・買い物（食品・日用品の購入）以外の外出について

- ✓ 主な移動手段は、自家用車が多いが、通院や買い物と比べると、鉄道やバスなどの公共交通機関を利用する割合が多い
- ✓ 通院・買い物（食品・日用品の購入）以外の外出頻度は「十分足りている」と「足りている」を合計すると約89%となり、ほとんどの人において外出頻度が足りているという結果になった

Q. 通院・買い物（食品・日用品の購入）以外の
外出時の主な移動手段について（※回答は3つまで）



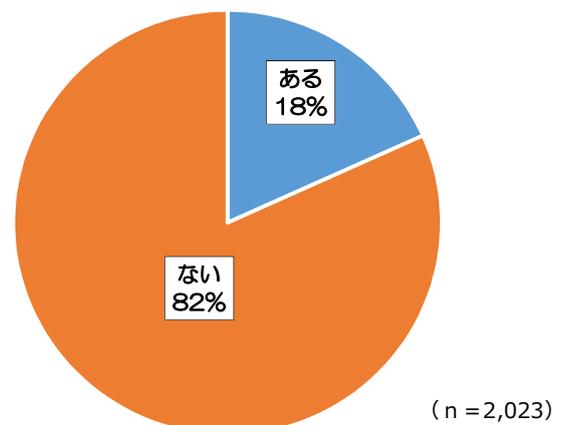
Q. 通院・買い物（食品・日用品の購入）以外の
外出頻度は足りているか



◆ 今まで以上に行きたい場所があるかについて

- ✓ 「ない」が約82%と「ある」を大きく上回る結果となった

Q. 移動手段が確保された場合、今まで以上に行きたい場所があるか



(4) 交通施策を検討する上で留意すべき点

公共交通の基本的な考えとして、既存の交通サービスを効果的に最大限活用することとしていることから、地域内の移動を担う交通施策を検討する上では、その点について、考慮する必要がある。

◆ 公共交通の基本方針抜粋

多様な交通サービスを効果的に最大限活用するため、(中略) 行政、交通事業者、地域住民、企業・団体等が、それぞれの役割分担のもと、適切な連携を図りながら、持続可能な公共交通網の構築を図る。

(5) 地域内の移動を担う交通施策について

平成29年度から検討を進めてきた交通施策の進捗については、次のとおりです。

	実施内容	取組状況
案1 <u>Suica、タクシー券の配布</u>	運転免許返納者などにSuica やタクシー券を配布する。 対象者については、年齢、免許の有無、収入等の要件を設ける。	● 高齢者の交通事故防止の観点から運転免許証返納制度を開始した。
案2 <u>新たな地域での地域支え合い活動の立ち上げ支援</u>	平川いきいきサポートの様な地域支え合い活動支援事業の立ち上げを積極的に支援し、市内の他地区でも、その地域に適した支え合い活動を立ち上げる。	● 新たな地域で支え合い活動(移動支援含む)の相談を受けているが、担い手の問題や実施方法について課題があり、実施に至っていない。
案3 <u>市内全域を対象としたデマンド型交通の実施</u>	交通空白地帯のみではなく、市内全域で、高齢者を対象としたデマンド型交通を実施する。	● 他自治体の移動支援策について視察を行った。 ● 市内全域のデマンドについて既存の公共交通(路線バス、タクシー)への影響が非常に大きいため、引き続き検討する。

◆ 高齢者の移動支援事業

高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画で、高齢者の移動支援事業を新たに位置付けており、アンケート結果を踏まえて検討を進めている。

◆ 視察結果の概要について

コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーを実施している自治体に対して、視察を行った。その結果については、次のとおりです。

	A自治体	B自治体	C自治体
運行形態	コミュニティバス (定時・定期路線型)	コミュニティバス (定時・定期路線型)	デマンド交通 (区域運行型)
事業内容	運行ルート：8ルート 運行時間：7時～17時 運行便数：25便 運行日：週5日(月・火・木・金・土) 運行車両：3台 [うち定員29人が1台 15人が2台] 運賃：無料	運行ルート：3ルート 運行時間：8時～16時 運行便数：8便 運行日：週5日(平日のみ) 運行車両：1台 (定員13人) 運賃：無料	運行ルート：全域 運行時間：8時45分～16時30分 運行日：週5日(平日のみ) 運行車両：3台(定員4人) 利用回数：片道月8回 (透析の方は16回) 運賃：無料
利用者数	12,729人	3,108人	8,981人
運行経費	約1,300万円 [利用者一人当たり] [約1,021円]	約342万4千円 [利用者一人当たり] [約1,101円]	約840万円 [利用者一人当たり] [約935円]
備考	運転以外の全ての事務(車両管理や時刻表の作成など)を自治体が行うことは業務量が多く、負担が大きい。	地域によって運賃が無料・有料があり、不均一の状態が続いている。	現行サービスは地域の規模に合っている。人口規模が大きくなるほど、デマンド型交通の受付をする際、システムが必要になるほか、費用負担が大きい。

◆ 公共交通施策の比較について

コミュニティバスやデマンド型交通を実施する上でのメリット・デメリットや課題などについては、次のとおり整理した。

- …メリット
●…デメリット

	コミュニティバス		デマンド型交通
	運賃：有料	運賃：無料	
運行イメージ	・市内8ルート、1日4往復 〔昭和地区：2ルート〕 〔長浦地区：2ルート〕 〔平川地区：4ルート〕	同左	・市内3地区にわけて、デマンド交通を実施 ・予約を受けて、運行を行う。
車両	マイクロバス：8台（各定員36人）	同左	ワゴン：平日7台、休日4台（各定員10人）
利用のし易さ	○ バス停に行けば時刻表に定められた時刻に乗ることが可能 ● 自宅からバス停まで一定の距離があり、移動が困難な高齢者等は利用しづらい ● 移動ニーズにきめ細かく対応できない	○ バス停に行けば時刻表に定められた時刻に乗ることが可能 ○ 運賃が無料であり、利用者の負担がない ● 自宅からバス停まで一定の距離があり、移動が困難な高齢者等は利用しづらい ● 移動ニーズにきめ細かく対応できない	○ ドアツードアのため、利便性が高い ● 予約が必要であり、利用の煩わしいがある ● 目的地が原則市内に限られる ● 利用時間の制約がある ● 予約状況により希望した時間に乗れない可能性がある
交通事業者への影響	● 既存バス事業者と競合することになり影響がある	● 運賃が無料のため、既存バス事業者に大きな影響を及ぼす可能性がある	● 既存の交通事業者に大きな影響を及ぼす
経常経費	平日運行：約10,100万円 毎日運行：約15,000万円	平日運行：約8,000万円 毎日運行：約11,200万円	毎日運行：約9,900万円 ※運行時間：8時～17時
課題	✓ 交通事業者への影響が大きい ため、影響を少なくする手法を検討する必要がある ✓ 市内全域を一定の本数でカバーするためには多くの車両が必要になる（高コスト）	✓ 交通事業者への影響が大きい ため、影響を少なくする手法を検討する必要がある ✓ 市内全域を一定の本数でカバーするためには多くの車両が必要になる（高コスト） ✓ 車庫や乗務員の休憩所などが必要になる	✓ 交通事業者への影響が大きい ため、影響を少なくする手法を検討する必要がある ✓ 予約する際など、市民が利用しやすい仕組みづくりが必要になる ✓ 予約受付を行う人員や配車システム等が必要になる

外出移動支援にかかるアンケート調査結果

令和元年8月

袖ヶ浦市高齢者支援課

1 調査概要

(1) 調査目的

袖ヶ浦市高齢者福祉計画第7期介護保険事業計画において、自家用車での移動が困難な高齢者及び公共交通での移動が困難な高齢者への移動支援を掲げている。

本調査は、事業の策定に当たり、利用者の視点に立った柔軟かつ総合的な移動支援策とするため、現状の市民ニーズを調査したものである。

(2) 調査対象者

要介護4～5を除く65歳以上の方4,000人。

(平成30年12月1日現在の住民基本台帳より、各地区25%程度ずつ無作為抽出。)

圏域名	対象者数	住 所
昭和地区	950人	坂戸市場、奈良輪、奈良輪1丁目～2丁目、福王台1丁目～4丁目、神納、神納1丁目～2丁目、南袖、高柳飛地
長浦地区	1,645人	今井、今井1丁目～3丁目、蔵波、蔵波台1丁目～7丁目、長浦、長浦駅前1丁目～8丁目、久保田、久保田1丁目～2丁目、代宿、久保田代宿入会地、椎の森、北袖、中袖
根形地区	425人	飯富、下新田、三ツ作、大曾根、野田、勝、のぞみ野
平岡地区	525人	永地、下泉、高谷、三箇錯綜、川原井、林、野里、上泉、永吉、岩井
中川・富岡地区	455人	百目木、百目木錯綜、横田、大鳥居、三黒、谷中、真理錯綜、下内橋錯綜、戸国飛地、下根岸、阿部、堂谷、打越、大竹、滝の口、吉野田、玉野、上宮田、下宮田

(3) 調査方法

郵送配布・回収

(4) 調査期間

平成31年1月15日(火)～2月8日(金)

(5) 回収数

2,403件

(6) 回収率

60.08%

2 アンケート調査結果

(1) 回答者の属性

今回調査における、回答者の属性は以下の通りです。

◆ 性別

	人数	
男性	1, 134人	47%
女性	1, 261人	53%

◆ 年齢

	人数	
65～69歳	765人	32%
70～74歳	638人	27%
75～79歳	489人	20%
80～84歳	277人	11%
85歳以上	231人	10%

◆ 居住地

	人数	
昭和地区	627人	26%
長浦地区	960人	40%
根形地区	248人	10%
平岡地区	287人	12%
中川・富岡地区	260人	12%

◆ 同居家族の人数

	人数	
1人(同居家族なし)	428人	18%
2人	1, 089人	46%
3人	459人	19%
4人	201人	8%
5人以上	219人	9%

◆同居している家族

	人数	
配偶者	1,478人	46%
子ども	992人	31%
孫	301人	10%
自分又は配偶者の親	68人	2%
その他	73人	2%
1人暮らし	298人	9%

◆年収（回答者）

	人数	
収入なし・50万円未満	291人	12%
50～100万円未満	491人	21%
100～150万円未満	365人	16%
150～200万円未満	333人	14%
200～250万円未満	341人	15%
250万円以上	519人	22%

◆年収（回答者の世帯全員）

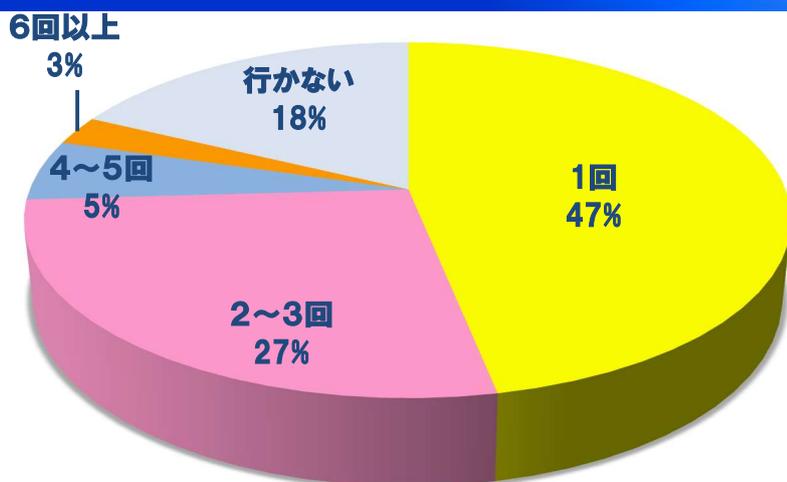
	人数	
100万円未満	126人	6%
100～200万円未満	291人	14%
200～300万円未満	482人	24%
300～400万円未満	410人	20%
400～500万円未満	258人	13%
500万円以上	471人	23%

◆要介護認定

	人数	
受けていない	1,478人	51%
要支援1～2	992人	34%
要介護1～2	301人	10%
要介護3以上	68人	2%
分からない	73人	3%

（2）通院の状況について

Q 病院は月に何回行くか。



選択肢	人数	割合
1回	1,047人	47%
2～3回	608人	27%
4～5回	123人	5%
6回以上	59人	3%
行かない	397人	18%

【地区別】

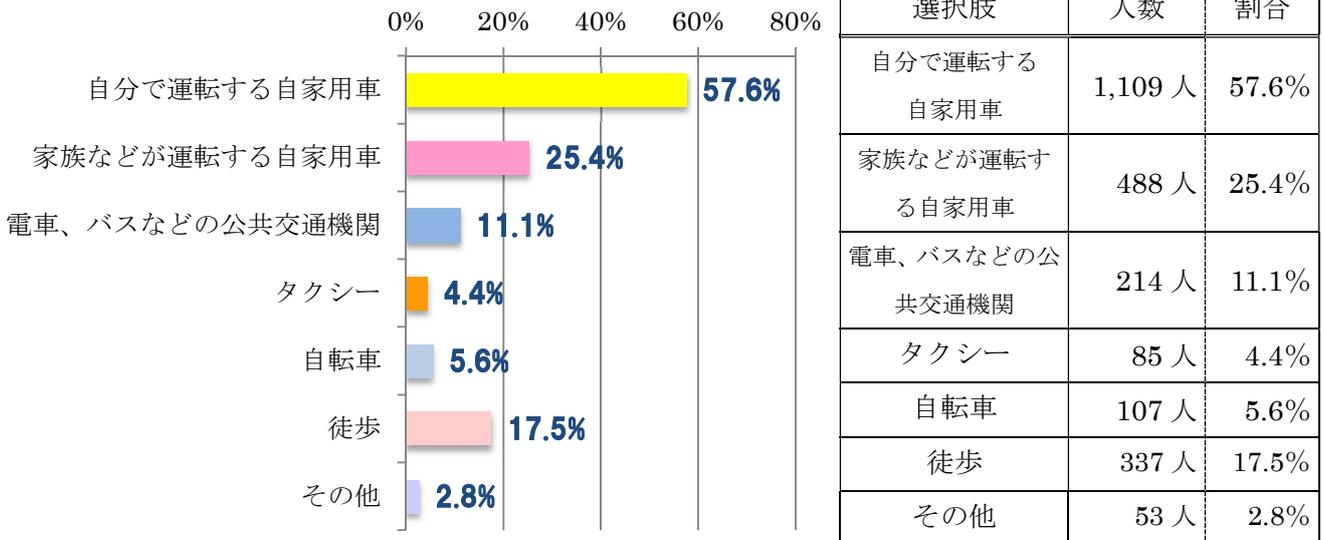
	昭和		長浦		根形		平岡		中富	
	人数	割合								
1回	283	48%	404	46%	112	49%	126	48%	114	47%
2～3回	163	28%	227	26%	63	28%	70	26%	77	31%
4～5回	38	6%	43	5%	12	5%	16	6%	14	6%
6回以上	24	4%	18	2%	3	1%	5	2%	5	2%
行かない	84	14%	189	21%	39	17%	48	18%	35	14%

【年齢別】

	65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1回	333	46%	287	49%	216	48%	106	42%	102	48%
2～3回	140	19%	150	25%	138	31%	108	43%	69	33%
4～5回	23	3%	24	4%	47	10%	13	5%	16	8%
6回以上	15	2%	9	2%	9	2%	11	4%	13	6%
行かない	213	30%	116	20%	41	9%	16	6%	11	5%

※【地区別】及び【年齢別】の人数及び、割合については、不明と回答した人及び無回答の人を除いて集計しています。

Q 通院の時の移動手段は何か。（複数回答可 回答者数 N=1,924）



【地区別】 ※各括弧内は回答者数（人）

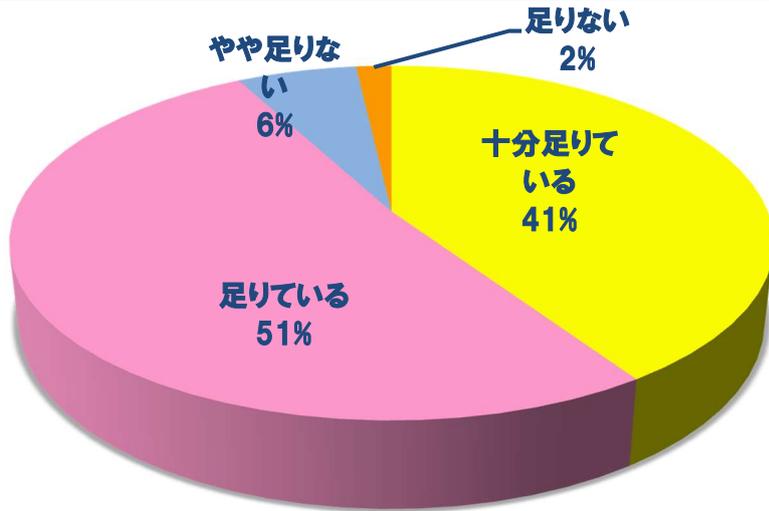
	昭和(524)		長浦(743)		根形(199)		平岡(221)		中富(217)	
	人数	割合								
自分で運転	325	62%	389	52%	126	63%	129	58%	128	50%
家族が運転	103	20%	187	25%	53	27%	79	36%	62	25%
公共交通	45	9%	100	13%	27	14%	18	8%	23	9%
タクシー	31	6%	40	5%	4	2%	9	4%	1	1%
自転車	38	7%	36	5%	7	4%	7	3%	16	6%
徒歩	105	20%	200	27%	9	5%	5	2%	17	7%
その他	13	2%	22	3%	7	4%	7	3%	4	2%

【年齢別】

	65～69歳 (533)		70～74歳 (502)		75～79歳 (432)		80～84歳 (245)		85歳以上 (204)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
自分で運転	405	76%	321	64%	232	54%	105	43%	41	20%
家族が運転	74	14%	109	22%	101	23%	88	36%	115	56%
公共交通	47	9%	53	11%	54	13%	43	18%	15	7%
タクシー	7	1%	7	1%	24	6%	21	9%	26	13%
自転車	23	4%	27	5%	31	7%	14	6%	10	5%
徒歩	89	17%	95	19%	90	21%	36	15%	27	13%
その他	8	2%	6	1%	13	3%	11	4%	14	7%

※【地区別】及び【年齢別】の人数及び、割合については、不明と回答した人及び無回答の人を除いて集計しています。

Q 現在の通院頻度で足りているのか。



選択肢	人数	割合
十分足りている	756人	41%
足りている	959人	51%
やや足りない	112人	6%
足りない	33人	2%

【地区別】

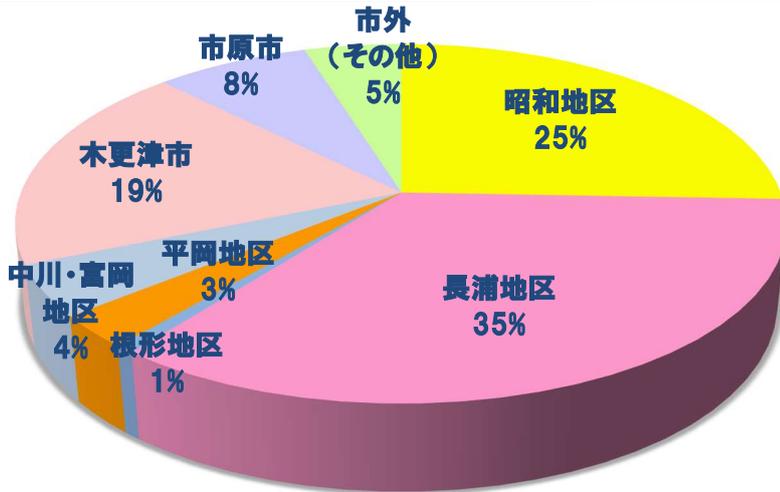
	昭和		長浦		根形		平岡		中富	
	人数	割合								
十分足りている	219	43%	294	41%	62	32%	87	40%	87	41%
足りている	251	49%	370	52%	116	60%	103	48%	109	52%
やや足りない	30	6%	43	6%	9	5%	16	7%	13	6%
足りない	8	2%	8	1%	5	3%	10	5%	1	1%

【年齢別】

	65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
十分足りている	259	48%	205	42%	168	40%	70	30%	51	26%
足りている	245	46%	255	53%	217	52%	121	53%	118	61%
やや足りない	19	4%	18	4%	26	6%	28	12%	20	10%
足りない	13	2%	7	1%	7	2%	11	5%	5	3%

【地区別】及び【年齢別】の人数及び、割合については、不明と回答した人及び無回答の人を除いて集計しています。

Q 主な通院先はどこか。



選択肢	人数	割合
昭和地区	570人	25%
長浦地区	777人	35%
根形地区	16人	1%
平岡地区	65人	3%
中富地区	102人	4%
木更津市	421人	19%
市原市	170人	8%
市外(その他)	107人	5%

【地区別】

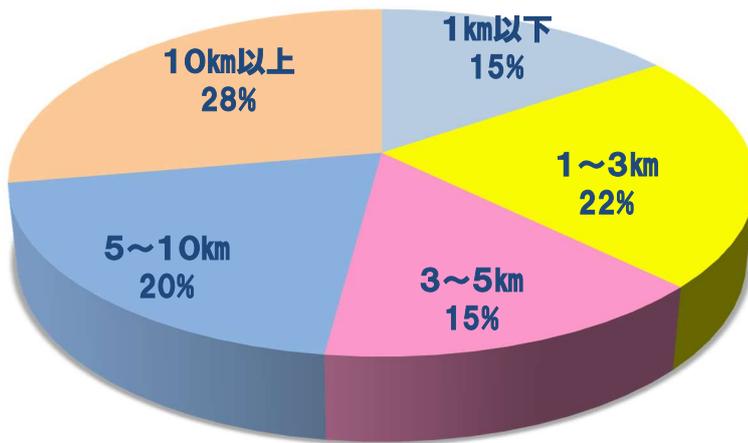
	昭和		長浦		根形		平岡		中富	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
昭和地区	351	57%	97	11%	68	29%	33	13%	16	6%
長浦地区	89	15%	524	62%	83	34%	47	18%	30	11%
根形地区	0	0%	2	1%	11	5%	1	1%	2	1%
平岡地区	1	1%	1	1%	2	1%	56	21%	5	2%
中富地区	0	0%	0	0%	2	1%	11	4%	89	33%
木更津市	117	19%	78	9%	44	19%	75	28%	103	39%
市原市	27	4%	93	11%	16	7%	24	9%	9	3%
市外(その他)	24	4%	43	5%	10	4%	16	6%	12	5%

【年齢別】

	65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
昭和地区	115	19%	131	23%	149	28%	84	28%	87	36%
長浦地区	240	41%	199	35%	173	32%	96	33%	67	28%
根形地区	6	1%	5	1%	1	1%	3	1%	1	1%
平岡地区	16	3%	12	2%	21	4%	9	3%	7	3%
中富地区	13	2%	28	5%	27	5%	17	6%	16	7%
木更津市	112	19%	115	20%	96	18%	60	20%	37	16%
市原市	45	8%	45	8%	43	8%	21	7%	16	7%
市外(その他)	43	7%	32	6%	21	4%	7	2%	4	2%

※【地区別】及び【年齢別】の人数及び、割合については、不明と回答した人及び無回答の人を除いて集計しています。

Q 自宅から通院先までの距離はどのくらいか。



選択肢	人数	割合
1 km以下	309 人	15%
1 ~ 3 km	443 人	22%
3 ~ 5 km	296 人	15%
5 ~ 1 0 km	406 人	20%
1 0 km以上	559 人	28%

【地区別】

	昭和		長浦		根形		平岡		中富	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1km以下	103	19%	163	21%	4	2%	14	6%	21	9%
1~3km	158	28%	229	29%	8	4%	9	4%	34	15%
3~5km	85	15%	116	15%	39	19%	31	14%	23	10%
5~10km	89	16%	128	16%	89	43%	52	24%	40	18%
10km以上	121	22%	149	19%	66	32%	112	52%	110	48%

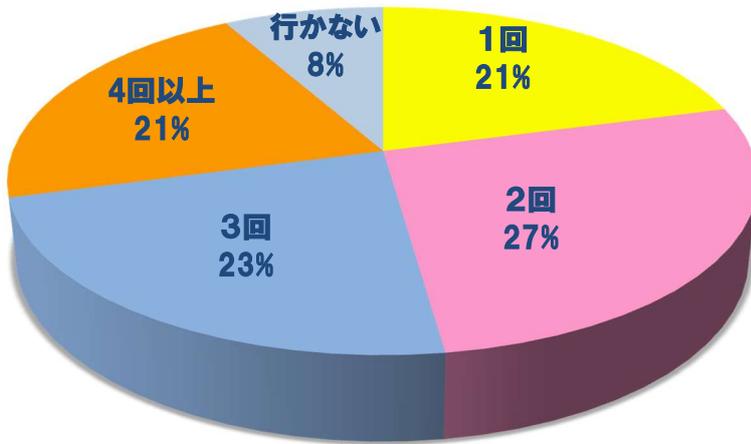
【年齢別】

	65~69 歳		70~74 歳		75~79 歳		80~84 歳		85 歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1km以下	83	15%	94	18%	65	14%	34	13%	31	14%
1~3km	121	22%	117	22%	102	23%	59	23%	41	19%
3~5km	72	13%	68	13%	66	15%	50	19%	38	18%
5~10km	119	21%	94	18%	91	20%	55	21%	44	21%
10km以上	159	29%	154	29%	127	28%	60	24%	60	28%

※【地区別】及び【年齢別】の人数及び、割合については、不明と回答した人及び無回答の人を除いて集計しています。

(3) 買い物の状況について

Q 買い物(食品・日用品等の購入)は週に何回行くか。



選択肢	人数	割合
1回	473人	21%
2回	612人	27%
3回	522人	23%
4回以上	479人	21%
行かない	185人	8%

【地区別】

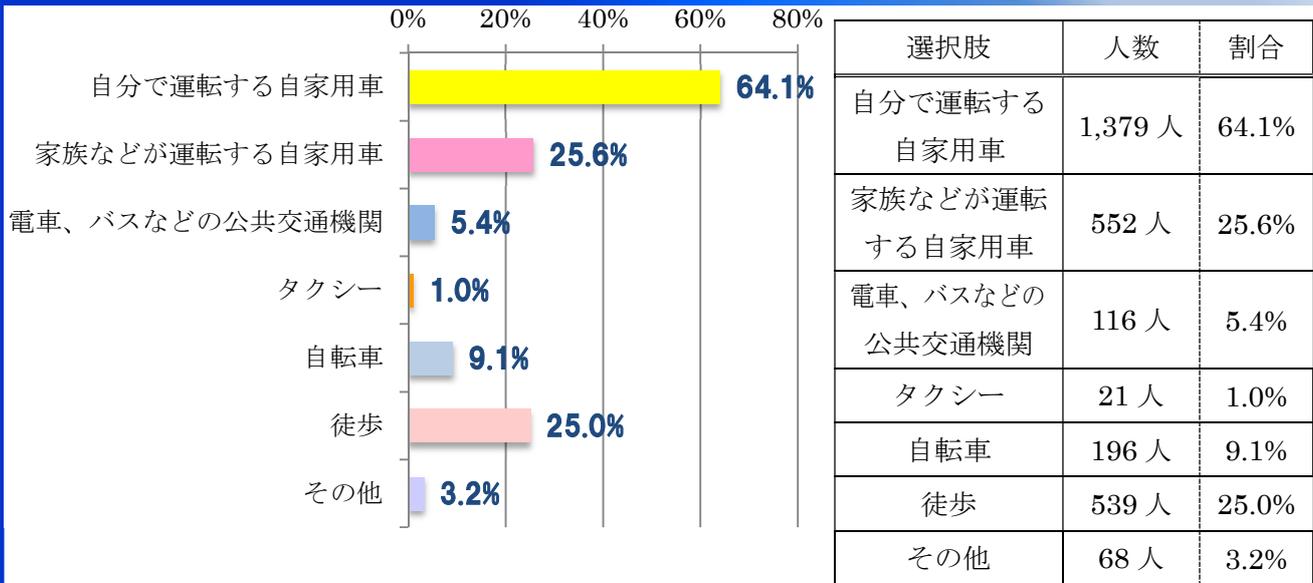
	昭和		長浦		根形		平岡		中富	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1回	134	23%	149	16%	59	25%	63	24%	62	25%
2回	163	28%	220	24%	63	27%	86	33%	75	31%
3回	127	21%	241	27%	51	21%	46	18%	52	21%
4回以上	104	17%	241	27%	41	17%	47	18%	40	16%
行かない	68	11%	57	6%	24	10%	19	7%	16	7%

【年齢別】

	65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1回	137	19%	119	20%	92	20%	68	27%	56	27%
2回	196	27%	175	28%	126	27%	76	31%	38	18%
3回	177	24%	153	25%	128	28%	42	17%	21	10%
4回以上	193	26%	131	22%	94	20%	35	14%	23	11%
行かない	32	4%	31	5%	25	5%	27	11%	69	34%

※【地区別】及び【年齢別】の人数及び、割合については、不明と回答した人及び無回答の人を除いて集計しています。

Q 買い物の時の移動手段は何か。(複数回答可 回答者数 N=2,153)



【地区別】 ※各括弧内は回答者数 (人)

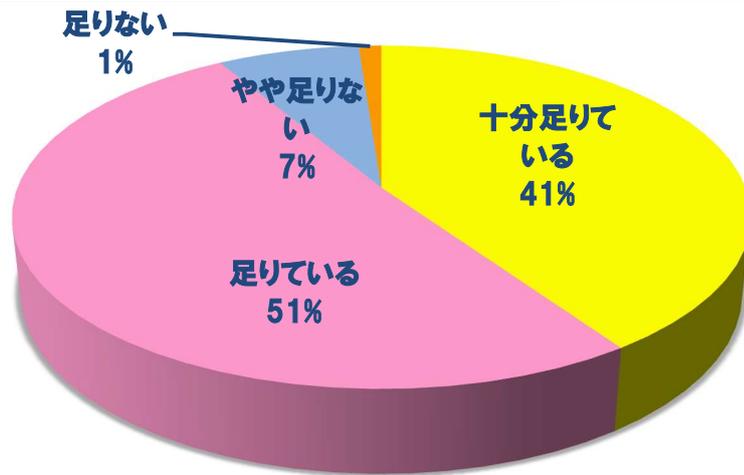
	昭和(548)		長浦(874)		根形(217)		平岡(287)		中富(237)	
	人数	割合								
自分で運転	384	70%	515	59%	148	68%	162	56%	157	66%
家族が運転	95	17%	235	27%	64	29%	86	30%	68	29%
公共交通	32	6%	39	4%	21	10%	13	5%	9	4%
タクシー	7	1%	8	1%	2	1%	2	1%	1	1%
自転車	60	11%	76	9%	11	5%	9	3%	35	15%
徒歩	133	24%	331	38%	29	13%	19	7%	22	9%
その他	19	3%	35	4%	5	2%	7	2%	2	1%

【年齢別】

	65～69 歳 (714)		70～74 歳 (538)		75～79 歳 (452)		80～84 歳 (238)		85 歳以上 (158)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
自分で運転	573	80%	398	74%	254	56%	106	45%	44	28%
家族が運転	141	20%	141	26%	119	26%	77	32%	73	46%
公共交通	26	4%	30	6%	27	6%	22	9%	10	6%
タクシー	1	1%	1	1%	6	1%	6	3%	7	4%
自転車	57	8%	52	10%	45	10%	27	11%	12	8%
徒歩	170	24%	147	27%	142	31%	39	16%	38	24%
その他	10	1%	6	1%	19	4%	20	8%	14	9%

※【地区別】及び【年齢別】の人数及び、割合については、不明と回答した人及び無回答の人を除いて集計しています。

Q 現在の買い物頻度で足りているのか。



選択肢	人数	割合
十分足りている	866 人	41%
足りている	1,093 人	51%
やや足りない	157 人	7%
足りない	25 人	1%

【地区別】

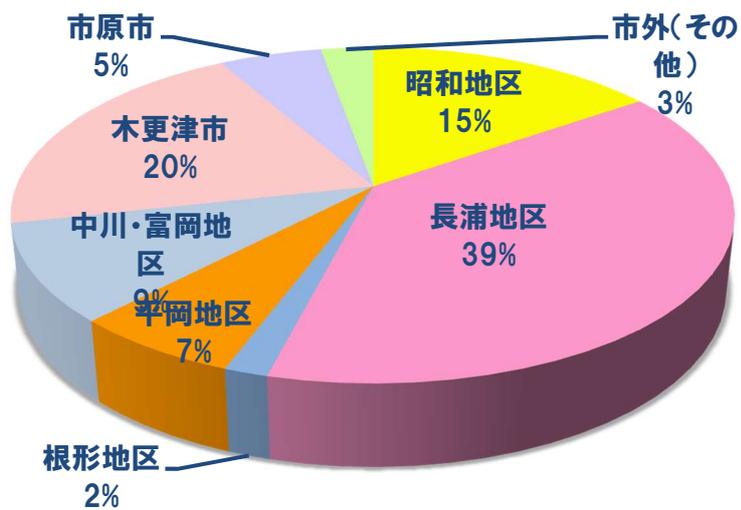
	昭和		長浦		根形		平岡		中富	
	人数	割合								
十分足りている	218	40%	401	46%	69	33%	88	35%	83	35%
足りている	272	51%	422	47%	122	57%	131	52%	133	58%
やや足りない	46	8%	54	6%	17	8%	24	10%	15	6%
足りない	6	1%	3	1%	4	2%	7	3%	3	1%

【年齢別】

	65～69 歳		70～74 歳		75～79 歳		80～84 歳		85 歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
十分足りている	350	48%	250	43%	162	37%	69	28%	33	21%
足りている	326	46%	293	51%	248	57%	133	55%	89	56%
やや足りない	34	5%	32	5%	22	5%	35	14%	34	21%
足りない	2	1%	7	1%	5	1%	7	3%	3	2%

【地区別】及び【年齢別】の人数及び、割合については、不明と回答した人及び無回答の人を除いて集計しています。

Q 主な買い物先はどこか。



選択肢	人数	割合
昭和地区	447 人	15%
長浦地区	1,133 人	39%
根形地区	49 人	2%
平岡地区	189 人	7%
中富地区	275 人	9%
木更津市	595 人	20%
市原市	158 人	5%
市外（その他）	81 人	3%

【地区別】

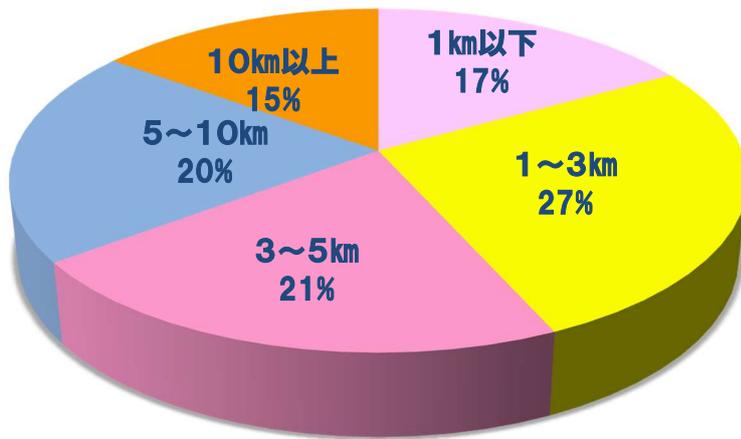
	昭和		長浦		根形		平岡		中富	
	人数	割合								
昭和地区	372	46%	25	2%	32	9%	8	2%	1	1%
長浦地区	132	17%	807	71%	148	43%	34	10%	4	1%
根形地区	3	1%	6	1%	38	11%	2	1%	0	0%
平岡地区	3	1%	7	1%	18	5%	149	40%	10	3%
中富地区	2	1%	2	1%	12	4%	67	19%	191	63%
木更津市	239	30%	152	14%	66	19%	49	14%	87	28%
市原市	14	2%	83	7%	16	5%	35	10%	7	2%
市外(その他)	16	2%	30	3%	12	4%	13	4%	7	2%

【年齢別】

	65～69 歳		70～74 歳		75～79 歳		80～84 歳		85 歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
昭和地区	98	10%	115	14%	114	19%	71	22%	47	21%
長浦地区	404	42%	326	41%	222	36%	108	34%	71	31%
根形地区	14	1%	15	2%	9	1%	7	2%	4	2%
平岡地区	55	6%	47	6%	45	7%	21	6%	20	9%
中富地区	73	8%	63	8%	66	11%	42	13%	31	14%
木更津市	211	22%	169	21%	116	19%	62	19%	35	16%
市原市	64	7%	50	6%	26	4%	7	2%	11	5%
市外(その他)	34	4%	20	2%	16	3%	6	2%	4	2%

※【地区別】及び【年齢別】の人数及び、割合については、不明と回答した人及び無回答の人を除いて集計しています。

Q 自宅から買い物先までの距離はどのくらいか。



選択肢	人数	割合
1 km以下	394 人	17%
1 ~ 3 km	619 人	27%
3 ~ 5 km	500 人	21%
5 ~ 1 0 km	477 人	20%
1 0 km以上	348 人	15%

【地区別】

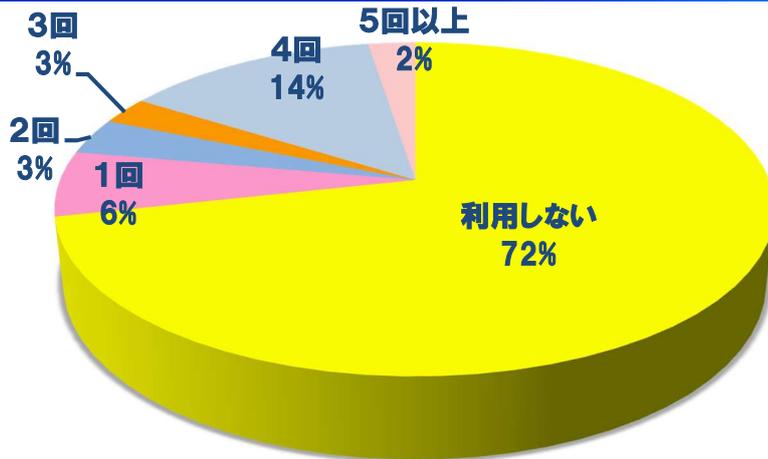
	昭和		長浦		根形		平岡		中富	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1km以下	88	15%	232	24%	16	6%	16	6%	40	16%
1~3km	151	25%	338	36%	18	7%	34	13%	70	27%
3~5km	144	24%	181	19%	49	20%	65	25%	53	21%
5~10km	143	24%	97	10%	103	41%	81	31%	49	19%
10km以上	70	12%	102	11%	64	26%	65	25%	44	17%

【年齢別】

	65~69 歳		70~74 歳		75~79 歳		80~84 歳		85 歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1km以下	138	18%	110	17%	79	17%	39	16%	27	16%
1~3km	219	28%	171	25%	122	26%	66	26%	38	22%
3~5km	147	19%	134	21%	110	23%	65	26%	41	24%
5~10km	144	18%	148	23%	96	20%	50	20%	39	23%
10km以上	136	17%	90	14%	67	14%	29	12%	26	15%

※【地区別】及び【年齢別】の人数及び、割合については、不明と回答した人及び無回答の人を除いて集計しています。

Q 食品や日用品の購入に、移動販売や通販（生協等）は月に何回程度利用するか。



選択肢	人数	割合
利用しない	1,571 人	72%
1回	139 人	6%
2回	77 人	3%
3回	58 人	3%
4回	297 人	14%
5回以上	55 人	2%

【地区別】

	昭和		長浦		根形		平岡		中富	
	人数	割合								
利用しない	409	73%	624	70%	156	67%	194	74%	174	72%
1回	34	6%	63	7%	19	8%	9	4%	12	5%
2回	23	4%	31	4%	4	2%	10	4%	7	3%
3回	13	2%	16	2%	9	4%	7	3%	13	5%
4回	69	12%	121	14%	41	18%	32	13%	32	13%
5回以上	18	3%	25	3%	2	1%	4	2%	4	2%

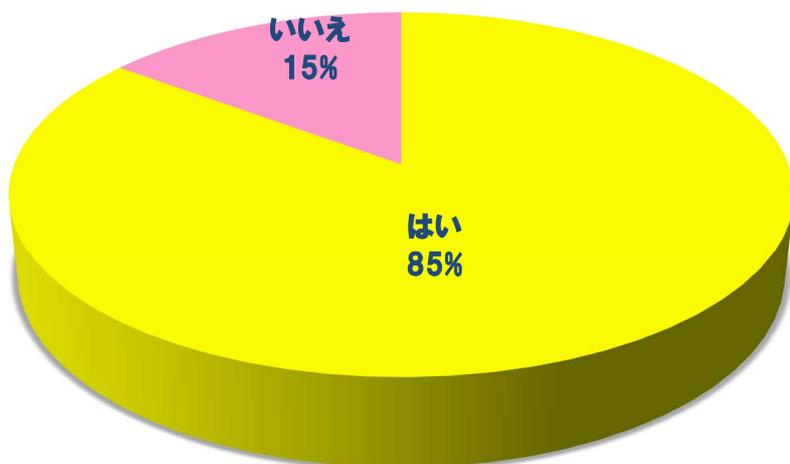
【年齢別】

	65～69 歳		70～74 歳		75～79 歳		80～84 歳		85 歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
利用しない	500	69%	429	71%	316	71%	176	72%	144	75%
1回	54	8%	33	6%	28	6%	12	5%	12	6%
2回	28	4%	15	3%	19	4%	8	3%	6	3%
3回	20	3%	9	2%	12	3%	9	4%	8	4%
4回	102	14%	86	15%	62	14%	29	12%	18	9%
5回以上	16	2%	15	3%	7	2%	9	4%	6	3%

※【地区別】及び【年齢別】の人数及び、割合については、不明と回答した人及び無回答の人を除いて集計しています。

（４）その他の外出の状況について

Q 通院・買い物(食品・日用品の購入)以外での外出をしているか。



選択肢	人数	割合
はい	1,879 人	85%
いいえ	326 人	15%

【地区別】

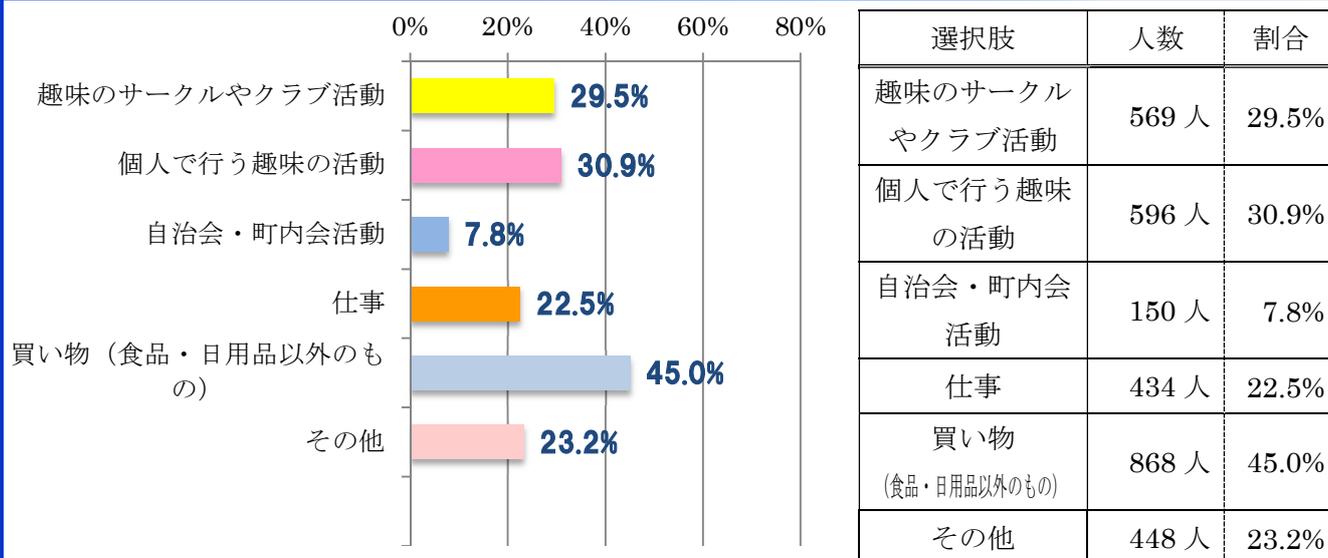
	昭和		長浦		根形		平岡		中富	
	人数	割合								
はい	485	84%	772	88%	189	83%	203	80%	212	87%
いいえ	91	16%	108	12%	40	17%	50	20%	32	13%

【年齢別】

	65～69 歳		70～74 歳		75～79 歳		80～84 歳		85 歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
はい	676	93%	535	90%	375	84%	171	73%	115	60%
いいえ	50	7%	61	10%	70	16%	64	27%	78	40%

※【地区別】及び【年齢別】の人数及び、割合については、不明と回答した人及び無回答の人を除いて集計しています。

Q 通院・買い物（食品・日用品の購入）以外での外出の目的は何か。（複数回答可 回答者数 N=1,927）



【地区別】 ※各括弧内は回答者数（人）

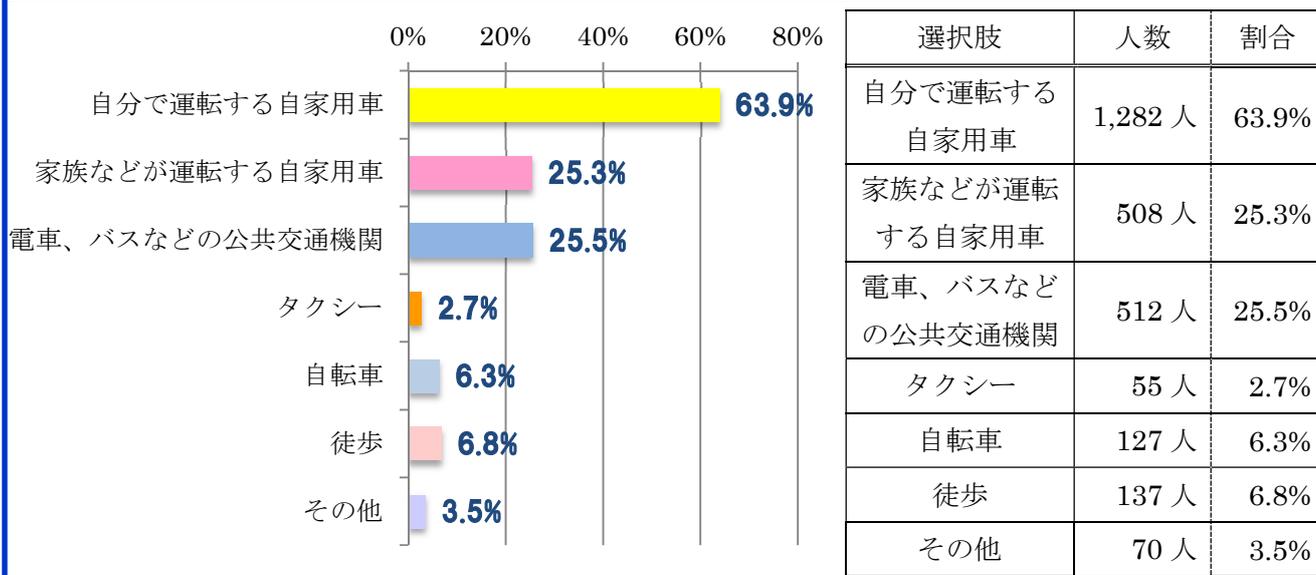
	昭和(507)		長浦(779)		根形(195)		平岡(215)		中富(211)	
	人数	割合								
団体での趣味	119	23%	290	37%	40	21%	60	28%	58	27%
個人での趣味	147	29%	256	33%	68	35%	54	25%	65	31%
自治会等	36	7%	61	8%	15	8%	22	10%	16	8%
仕事	110	22%	149	19%	54	28%	54	25%	62	29%
買い物	218	43%	356	46%	85	44%	102	47%	97	46%
その他	137	27%	184	24%	53	27%	44	20%	27	13%

【年齢別】

	65～69歳 (678)		70～74歳 (539)		75～79歳 (382)		80～84歳 (192)		85歳以上 (129)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
団体での趣味	192	28%	164	30%	135	35%	47	24%	30	23%
個人での趣味	229	34%	160	30%	134	35%	42	22%	28	22%
自治会等	50	7%	38	7%	35	9%	16	8%	10	8%
仕事	230	34%	142	26%	39	10%	17	9%	6	5%
買い物	334	49%	246	46%	176	46%	65	34%	44	34%
その他	136	20%	121	22%	74	19%	57	30%	60	47%

※【地区別】及び【年齢別】の人数及び、割合については、不明と回答した人及び無回答の人を除いて集計しています。

Q 通院・買い物(食品・日用品の購入)以外の外出の際の移動手段は何か。(複数回答可 回答者数 N=2,007)



【地区別】 ※各括弧内は回答者数（人）

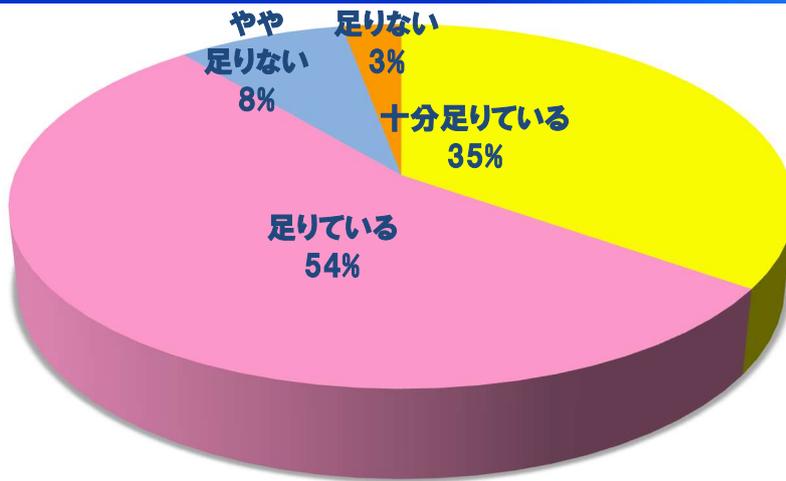
	昭和(527)		長浦(779)		根形(195)		平岡(215)		中富(211)	
	人数	割合								
自分で運転	350	66%	484	59%	140	56%	150	52%	146	66%
家族が運転	103	20%	224	27%	52	21%	67	23%	59	27%
公共交通	148	28%	240	29%	49	20%	35	12%	37	17%
タクシー	19	4%	23	3%	4	2%	6	2%	2	1%
自転車	44	8%	48	6%	12	5%	8	3%	13	6%
徒歩	89	17%	181	22%	25	10%	16	6%	21	10%
その他	17	3%	34	4%	7	3%	5	2%	7	3%

【年齢別】

	65～69歳 (683)		70～74歳 (555)		75～79歳 (406)		80～84歳 (212)		85歳以上 (140)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
自分で運転	545	80%	376	68%	222	55%	98	46%	35	25%
家族が運転	142	21%	127	23%	98	24%	68	32%	70	50%
公共交通	199	29%	133	24%	116	29%	41	19%	19	14%
タクシー	7	1%	8	1%	16	4%	13	6%	11	8%
自転車	33	5%	35	6%	32	8%	20	9%	7	5%
徒歩	83	12%	97	17%	91	22%	36	17%	28	20%
その他	12	2%	12	2%	20	5%	10	5%	16	11%

※【地区別】及び【年齢別】の人数及び、割合については、不明と回答した人及び無回答の人を除いて集計しています。

Q 通院・買い物(食品・日用品の購入)以外の外出は、現在の外出頻度で足りているか。



選択肢	人数	割合
十分足りている	706人	35%
足りている	1,097人	54%
やや足りない	165人	8%
足りない	58人	3%

【地区別】

	昭和		長浦		根形		平岡		中富	
	人数	割合								
十分足りている	199	37%	291	35%	56	28%	75	33%	79	36%
足りている	270	52%	456	55%	118	59%	121	53%	120	55%
やや足りない	39	7%	63	8%	20	10%	25	11%	15	7%
足りない	23	4%	18	2%	5	3%	6	3%	5	2%

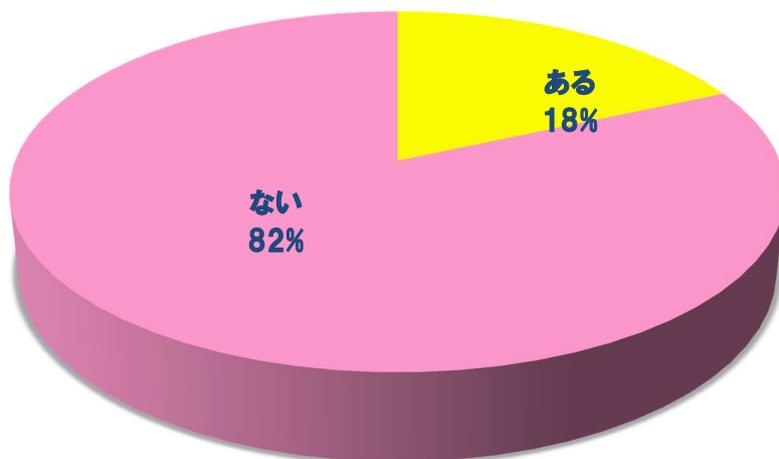
【年齢別】

	65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
十分足りている	287	42%	202	36%	127	31%	56	26%	32	22%
足りている	352	52%	313	55%	230	56%	118	55%	79	56%
やや足りない	37	5%	39	7%	43	11%	25	12%	19	13%
足りない	8	1%	14	2%	8	2%	14	7%	13	9%

【地区別】及び【年齢別】の人数及び、割合については、不明と回答した人及び無回答の人を除いて集計しています。

（5）その他について

Q 移動手段が確保された場合、今まで以上に行きたい場所はあるか。



選択肢	人数	割合
はい	370 人	18%
いいえ	1,653 人	82%

【地区別】

	昭和		長浦		根形		平岡		中富	
	人数	割合								
はい	99	19%	152	19%	36	18%	46	19%	34	16%
いいえ	428	81%	663	81%	166	82%	193	81%	184	84%

【年齢別】

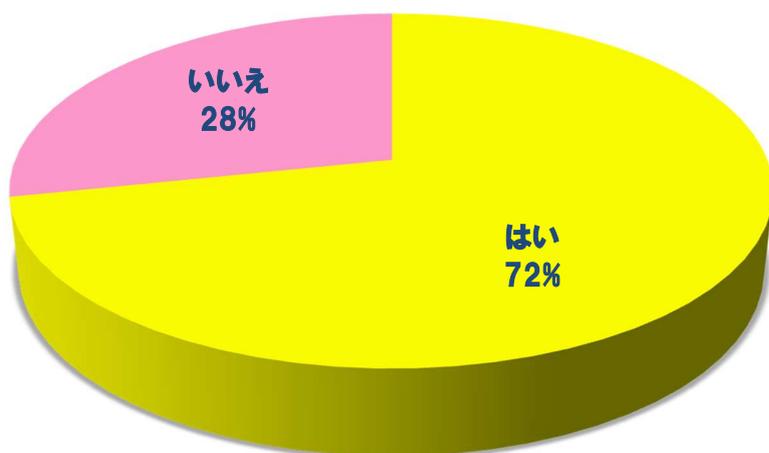
	65～69 歳		70～74 歳		75～79 歳		80～84 歳		85 歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
はい	84	13%	96	18%	83	21%	53	24%	50	26%
いいえ	573	87%	447	82%	313	79%	172	76%	141	74%

※【地区別】及び【年齢別】の人数及び、割合については、不明と回答した人及び無回答の人を除いて集計しています。

【『ある』と答えた人の自由記載】

買い物／旅行（温泉）／友人と食事／サークル／美術館／カラオケ／県外／ガウランド
 外食／クリニック・医院／近所の店ではなくイオンモールなど大型スーパー／ゆりの里
 コミュニティの場所／東京ドイツ村／アウトレット／映画館／仕事／他地区の公園
 墓地（お墓参り）／袖ヶ浦公園／茂原のアジサイ農園／郵便局や銀行／コンサート
 ゴルフ場／うまくだの里（道の駅）／リハビリ病院（週）1 回／山登り／プール
 行動範囲が広がりボランティア等ができれば／美容院
 連れて行って欲ればどこでもいい

Q 運転免許証を保有していますか。



選択肢	人数	割合
はい	1,665 人	72%
いいえ	658 人	28%

【地区別】

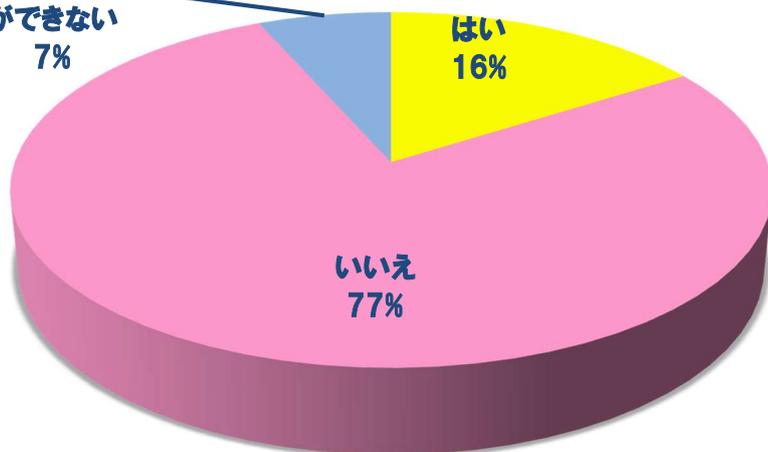
	昭和		長浦		根形		平岡		中富	
	人数	割合								
はい	459	76%	647	70%	176	72%	186	69%	178	70%
いいえ	143	24%	280	30%	68	28%	84	31%	75	30%

【年齢別】

	65～69 歳		70～74 歳		75～79 歳		80～84 歳		85 歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
はい	673	89%	489	78%	304	65%	137	53%	53	25%
いいえ	82	11%	135	22%	163	35%	120	47%	157	75%

※【地区別】及び【年齢別】の人数及び、割合については、不明と回答した人及び無回答の人を除いて集計しています。

Q 自動車運転免許証の返納を考えているか。【運転免許証を保有している方のうち】

返納したい
ができない
7%

選択肢	人数	割合
はい	267人	16%
いいえ	1,297人	77%
返納したいができない	110人	7%

【地区別】

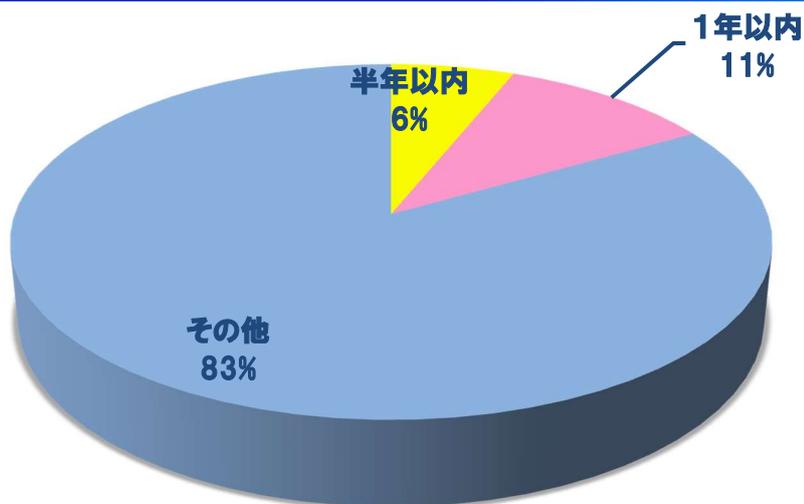
	昭和		長浦		根形		平岡		中富	
	人数	割合								
はい	82	18%	119	18%	18	10%	24	13%	21	12%
いいえ	334	72%	503	77%	150	87%	155	82%	142	80%
返納できない	45	10%	33	5%	6	3%	9	5%	14	8%

【年齢別】

	65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
はい	88	13%	63	13%	65	21%	31	22%	15	28%
いいえ	570	85%	398	81%	209	68%	91	65%	27	51%
返納できない	15	2%	28	6%	35	11%	19	13%	11	21%

【地区別】及び【年齢別】の人数及び、割合については、不明と回答した人及び無回答の人を除いて集計しています。

Q 返納はいつごろを予定していますか。【運転免許証の返納を考えている方のうち】



選択肢	人数	割合
半年以内	19人	19%
1年以内	33人	33%
その他	260人	260%

【地区別】

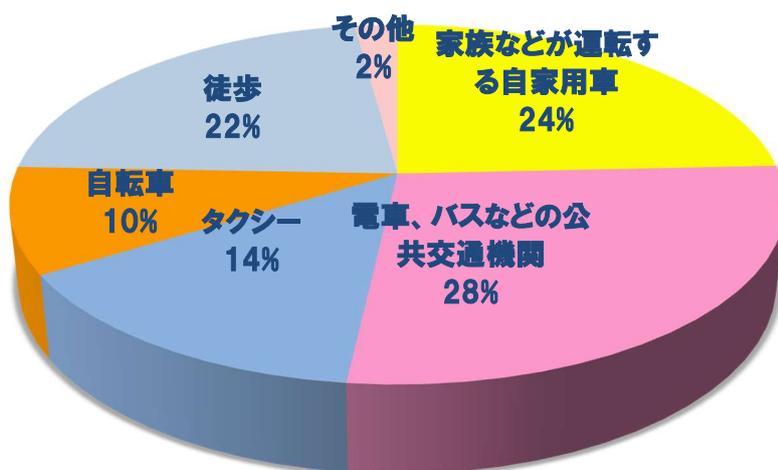
	昭和		長浦		根形		平岡		中富	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
半年以内	9	9%	4	3%	3	17%	3	9%	0	0%
1年以内	11	12%	12	9%	3	17%	3	9%	3	7%
その他	75	79%	120	88%	12	66%	27	82%	39	93%

【年齢別】

	65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
半年以内	0	0%	4	5%	6	8%	3	8%	6	40%
1年以内	2	2%	6	7%	9	12%	11	31%	4	27%
その他	93	98%	75	88%	60	80%	22	61%	5	33%

【地区別】及び【年齢別】の人数及び、割合については、不明と回答した人及び無回答の人を除いて集計しています。

Q 自動車運転免許証返納後は、主にどのような移動手段を予定しているか。【運転免許証を保有している方のうち】



選択肢	人数	割合
家族などが運転する自家用車	220人	24%
電車、バスなどの公共交通機関	249人	28%
タクシー	130人	14%
自転車	86人	10%
徒歩	202人	22%
その他	19人	2%

【地区別】

	昭和		長浦		根形		平岡		中富	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
家族が運転	61	22%	87	21%	16	37%	34	36%	17	29%
公共交通	74	27%	127	30%	13	30%	23	25%	11	19%
タクシー	42	15%	62	15%	5	11%	12	13%	9	16%
自転車	35	13%	26	6%	4	9%	10	11%	9	16%
徒歩	59	21%	116	27%	5	11%	11	12%	10	17%
その他	6	2%	6	1%	1	2%	3	3%	2	3%

【年齢別】

	65～69歳		70～74歳		75～79歳		80～84歳		85歳以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
家族が運転	68	24%	52	24%	46	20%	34	31%	18	35%
公共交通	83	29%	61	28%	69	28%	24	21%	10	19%
タクシー	33	12%	26	12%	39	17%	20	18%	11	21%
自転車	25	9%	27	12%	25	11%	6	5%	4	8%
徒歩	71	25%	49	23%	51	22%	22	20%	7	13%
その他	3	1%	2	1%	5	2%	6	5%	2	4%

※【地区別】及び【年齢別】の人数及び、割合については、不明と回答した人及び無回答の人を除いて集計しています。

平成31年1月

袖ヶ浦市高齢者支援課

袖ヶ浦市外出移動支援アンケート

回答に当たってのお願い

- ①回答欄(点線の囲み)の中から、あてはまるものの番号を選んで○をつけてください。
- ②回答につきましては、直近1年間を振り返り、回答してください。
- ③ご記入済のアンケート用紙は、返信用の封筒に入れて、切手を貼らずに2月8日(金)までにポストへ投函するか、高齢者支援課または、ながうら・ひらがわサブセンターの窓口へ提出してください。アンケート用紙や封筒にお名前を書く必要はありません。

あなたや、あなたの世帯についてお伺いします。

Q1 あなたの性別を教えてください。

- 1 男性 2 女性

Q2 あなたの年齢を教えてください。

- 1 65～69歳 2 70～74歳 3 75～79歳
4 80～84歳 5 85歳以上

Q3 あなたは、どちらの地区にお住まいですか。

- 1 昭和地区 2 長浦地区 3 楢形地区 4 平岡地区
5 中川・富岡地区 6 地区が不明な場合は住所の大字名 ()

Q4 あなた自身を含めた同居家族の人数を教えてください。

- 1 1人(同居の家族はいない) 2 2人 3 3人
4 4人 5 5人以上

Q5 あなたと同居している家族の方を教えてください。当てはまるものをすべて○を付けてください。

- 1 配偶者 2 子ども 3 孫 4 自分の親、配偶者の親
5 その他 6 同居していない(1人暮らし)

Q7 あなたの1年間の収入について教えてください。

- 1 収入なし・50万円未満 2 50～99万円 3 100～149万円未満
4 150～199万円未満 5 200～249万円未満 6 250万円以上

Q8 あなたの世帯全員の、1年間の収入について教えてください。(あなた以外の世帯員の収入も合計した金額を記入してください。)

- 1 100万円未満 2 100～199万円 3 200～299万円未満
4 300～399万円未満 5 400～499万円未満 6 500万円以上

次のページへ

1

Q17 現在の買い物(食品・日用品の購入)頻度で足りていますか。

- 1 十分足りている 2 足りている 3 やや足りない 4 足りない。

Q18 主な買い物(食品・日用品の購入)先を教えてください。

- 1 昭和地区 2 長浦地区 3 楢形地区 4 平岡地区
5 中川・富岡地区 6 木更津市 7 市原市 8 市外(その他)
9 分からない場合は商店名等 ()

Q19 自宅から、買い物(食品・日用品の購入)先への距離はどのくらいありますか。

- 1 1km以下(車で1分以下、自転車5分以下、徒歩13分以下が目安です)
2 1～3km(車で3分、自転車15分、徒歩35分程度が目安です。)
3 3～5km(車で5分、自転車25分、徒歩1時間程度が目安です。)
4 5～10km(車で10分、自転車50分、徒歩2時間程度が目安です。)
5 10km以上(車で10分以上、自転車50分以上、徒歩2時間以上が目安です。)

Q20 食品や日用品の購入に、移動販売や通販(生協等)は月に何回程度利用しますか。

- 1 利用しない 2 1回 3 2回 4 3回 5 4回 6 5回以上

その他の外出についてお伺いします。

Q21 通院・買い物(食品・日用品の購入)以外での外出をしていますか。

「1 はい」と回答した方は、Q22以降の設問にも答えてください。

- 1 はい 2 いいえ(→「はい」と回答した方はQ25の設問へ)

Q22 通院・買い物(食品・日用品の購入)以外での外出の目的は何ですか。

(主なもの3つまで回答可)

- 1 趣味のサークルやクラブ活動 2 個人で行う趣味の活動
3 自治会・町内会活動 4 仕事 5 買い物(食品・日用品以外のもの)
6 その他 ()

Q23 通院・買い物(食品・日用品の購入)以外での外出の際の、移動手段を教えてください。

(主なもの3つまで回答可)

- 1 自分で運転する自家用車 2 家族などが運転する自家用車
3 電車、バスなどの公共交通機関 4 タクシー 5 自転車
6 徒歩 7 その他 ()

Q24 通院・買い物(食品・日用品の購入)以外での外出は、現在の外出頻度で足りていますか。

- 1 十分足りている 2 足りている 3 やや足りない 4 足りない

次のページへ

3

Q9 あなたは要介護認定を受けていますか。

- 1 受けていない 2 要支援1～2 3 要介護1～2
4 要介護3以上 5 分からない

あなたの通院についてお伺いします。

Q10 病院は月に何回行きますか。

「1回」以上あると回答した方は、Q11以降の設問にも答えてください。

- 1 1回 2 2～3回 3 4～5回 4 6回以上
5 行かない(→「行かない」と回答した方はQ15の設問へ)

Q11 通院の際の、移動手段を教えてください。(主なもの3つまで回答可)

- 1 自分で運転する自家用車 2 家族などが運転する自家用車
3 電車、バスなどの公共交通機関 4 タクシー 5 自転車
6 徒歩 7 その他 ()

Q12 現在の通院の頻度で足りていますか。

- 1 十分足りている 2 足りている 3 やや足りない 4 足りない

Q13 主な通院先を教えてください。(複数ある場合は、もつともよく行く通院先3つを記入ください。)

- 1 昭和地区 2 長浦地区 3 楢形地区 4 平岡地区
5 中川・富岡地区 6 木更津市 7 市原市 8 市外(その他)
9 分からない場合は病院名等 ()

Q14 自宅から、通院先への距離はどのくらいありますか。

- 1 1km以下(車で1分以下、自転車5分以下、徒歩13分以下が目安です)
2 1～3km(車で3分、自転車15分、徒歩35分程度が目安です。)
3 3～5km(車で5分、自転車25分、徒歩1時間程度が目安です。)
4 5～10km(車で10分、自転車50分、徒歩2時間程度が目安です。)
5 10km以上(車で10分以上、自転車50分以上、徒歩2時間以上が目安です。)

あなたの買い物についてお伺いします。

Q15 買い物(食品・日用品の購入)は、週に何回行きますか。

「1回」以上あると回答した方は、Q16以降の設問にも答えてください。

- 1 1回 2 2回 3 3回 4 4回以上
5 行かない(→「行かない」と回答した方はQ21の設問へ)

Q16 買い物(食品・日用品の購入)の際の、移動手段を教えてください。(主なもの3つまで回答可)

- 1 自分で運転する自家用車 2 家族などが運転する自家用車
3 電車、バスなどの公共交通機関 4 タクシー 5 自転車
6 徒歩 7 その他 ()

2

0001

全体的なことについてお伺いします。

Q25 移動手段が確保された場合、今まで以上に行きたい場所がありますか。

「1 ある」と回答した方は、以降の設問にも答えてください。

- 1 ある 2 ない

(ある場合) 移動手段があれば、今まで以上に行きたい場所はどこですか。
また、その頻度(月に何回か)を教えてください。

↓

(ある場合) 現在、思うように移動手段が確保されていない理由は何ですか。

↓

Q26 あなたは、運転免許証を保有していますか。

「1 はい」と回答した方は、以降の設問にも答えてください。

- 1 はい 2 いいえ

(はいの場合) 自動車運転免許証の返納を考慮していますか。

- 1 はい 2 いいえ 3 返納したいができない
(はいの場合) それはいつごろを予定していますか。
1 半年以内 2 1年以内 3 その他 ()

(はいの場合) 自動車運転免許証返納後は、主にどのような移動手段を予定していますか。(複数回答可)

- 1 家族などが運転する自家用車 2 電車、バスなどの公共交通機関
3 タクシー 4 自転車 5 徒歩
6 その他 ()

(できない場合) 自動車運転免許証を返納できない理由を教えてください。

↓

Q27 今後、市に臨む移動支援課はありますか。(自由記載)

↓

ご協力ありがとうございました。返信用封筒に入れて切手を貼らずに、2月8日(金)までにポストへ投函するか、高齢者支援課または、ながうら・ひらがわサブセンターの窓口へ提出してください。

4